

三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(令和3年度実施分)

令和4年9月
三郷町教育委員会

目 次

I	点検・評価の概要	1
II	町教育委員会の活動状況	2
III	施策及び事業の点検・評価	5
	1. 三郷町教育大綱との対応関係	6
	2. 令和3年度主要事業と主な内容	7
	3. 点検・評価項目	
	①学校施設の整備	8
	②教職員研修の充実	10
	③就学の支援	12
	④特別支援教育の推進	14
	⑤情報・国際教育の推進	16
	⑥いじめ・不登校の対策	18
	⑦地域の教育力の向上	20
	⑧安全・安心の学校づくり	22
	⑨学校給食体制の整備	24
	⑩幼児教育の充実	26
	⑪生涯学習の推進	28
	⑫青少年の健全育成	30
	⑬人権教育・啓発の推進	32
	⑭文化センターの充実	34
	⑮文化活動への支援	36
	⑯図書館の充実	38
	⑰生涯スポーツの推進	40
	⑱スポーツ施設の整備	42
IV	学識経験者の知見の活用	44

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、令和3年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ、報告いたします。

令和4年9月6日

三郷町教育委員会

教育長 大西 孝浩

教育長職務代理者 鶴丸 浩

委員 芝崎 善彦

委員 窪内 真一

委員 下方 恵理

I 点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は令和3年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、令和3年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの柱のもとに設定した21の基本施策に係る主な施策を18の点検評価項目として定め、事務、事業ごとの令和3年度実績を検証し、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価に当たっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者から指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
かなやま のりまさ 金山 憲正	奈良学園大学 副学長 (人間教育学部 教授)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名	備考
教育長	大西孝浩	
教育長職務代理者	鶴丸浩	
委員	芝崎善彦	
委員	窪内真一	
委員	下方恵理	

2. 教育委員会議の開催状況

- ① 定例会・・・12回
- ② 臨時会・・・0回

3. 教育委員会議の審議状況

- ① 審議事項・・・16件
- ② 報告事項・・・17件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、令和3年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については「議案」として、その他の報告事項については「報告」に分類し、記載しています。

4. 教育委員の活動状況

- ① 学校(園)計画訪問実施（年1回）
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校
- ② 小中学校教諭との意見交換会（年1回）・・・中止
小学校2校・中学校1校
- ③ 各小中学校・幼稚園PTA役員との意見交換会（年1回）・・・中止
- ④ 学校行事への参加・・・縮小実施のため不参加
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ⑤ 各種会議、行事、研修会等への参加
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年育成各種会議、不登校対策連絡会、各種研修・研究大会、成人式等 ※書類決議及び一部中止

令和3年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	令和3年 第4回教育委員会定例会	開会日	令和3年4月20日 (火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について ・令和4年三郷町成人式の開催について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教職員の人事異動について ・生駒郡教育長会について ・生駒郡地教委連絡協議会について ・三郷小学校通学路について ・各課別報告について 		
会 議	令和3年 第5回教育委員会定例会	開会日	令和3年5月18日 (火)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルについて ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第6回教育委員会定例会	開会日	令和3年6月21日 (月)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員報告について ・令和3年7月・8月の三郷町スポーツセンター休館日について ・令和3年7月・8月の三郷町ウォーターパークの使用の制限について ・令和3年第2回(6月)三郷町議会定例会について ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第7回教育委員会定例会	開会日	令和3年7月20日 (火)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期休業期間中の町立学校における学校閉庁の実施について ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第8回教育委員会定例会	開会日	令和3年8月17日 (火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の点検及び評価報告書(令和2年度実施分)について ・令和4年度中学校使用教科書採択について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第9回教育委員会定例会	開会日	令和3年9月21日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年第3回(9月)三郷町議会定例会について ・各課別報告 		

会 議	令和3年 第10回教育委員会定例会	開会日	令和3年10月20日(水)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について ・三郷町スポーツ競技全国大会等出場者奨励金交付要綱の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度図書館の利用状況について ・令和4年三郷町成人式開催要項について ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第11回教育委員会定例会	開会日	令和3年11月16日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	令和3年 第12回教育委員会定例会	開会日	令和3年12月21日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・令和3年度卒業(園)式及び令和4年度入学(園)式について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年第4回(12月)三郷町議会定例会について ・学校給食における異物混入対応マニュアルについて ・各課別報告 		
会 議	令和4年 第1回教育委員会定例会	開会日	令和4年1月18日(火)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	令和4年 第2回教育委員会定例会	開会日	令和4年2月16日(水)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	令和4年 第3回教育委員会定例会	開会日	令和4年3月15日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町学校運営協議会の設置及び運用に関する規則の制定について ・三郷町コミュニティ・スクール運営委員会設置要綱の制定について ・三郷町子どもの安全対策推進会議設置要綱の制定について ・三郷町児童生徒就学援助要綱の一部改正について ・令和4年度町立学校(園)の教育課程について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		

Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

点検及び評価に当たっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町教育大綱」の施策体系に沿って、次頁の表のとおり21の項目に基づき「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法及び結果について、PDCAサイクル(※)に従い、詳細に記載するとともに、成果指標と決算額を示し、成果とコストを明確にするようにしています。

また、国や県の補助事業については、その内容や額等を明記しています。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、「1. 基本事項」「2. 事業概要・目的」「3. 事業実績・結果」「4. 点検評価・課題」「5. 改善方法・結果」「6. 今後の計画・方向性」に分類しています。

【基本事項】

→施策の名称、担当課、教育大綱との相関性及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、令和3年度実績です。（「◎」については、補助事業を示します。）

【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。また、課題については、継続的な課題とともに、令和3年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果並びに新たな課題に対する改善方法などについて記載しています。

【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

※PDCAサイクル

計画(PLAN)→実行(DO)→点検(CHECK)→見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

【三郷町教育大綱との対応関係】

<教育大綱 基本目標>

I 「子育てなら三郷町」

仕事と子育ての両立を支援するサービスと質の高い教育を提供し、若い世代や子育て世代に「安心して子育てができる」と感じてもらえるまちを目指します。

II 「教育なら三郷町」

まち全体で子どもたちの成長をサポートできるよう、ICT環境を整備また活用し、地域の豊かな自然と歴史を活かした教育等を取り入れて学校教育の充実を図るとともに、孤立する子どもをつくらないための取組等を積極的に進めます。

また、学校と地域の連携を深めながら、地域における学習や世代間交流の場づくりなど、すべての人が生涯にわたり学習できる機会を提供します。

III 「住み続けるなら三郷町」

生涯を「学び」の機会として捉え、心豊かな「ふれあい」と「地域愛」をもって、子どもからお年寄りまですべての人が生きがいをもってイキイキと暮らすことのできる活力ある地域づくりを進めます。

基本目標	基本施策	点検・評価項目頁
I 「子育てなら三郷町」	①放課後の学習の機会の充実と子どもたちの居場所づくり	P20
	②豊かな心と感性を育む幼児教育の充実	P26
	③誰もが質の高い教育を受けることができる就学の支援	P12
II 「教育なら三郷町」	④学校施設の整備と充実	P 8
	⑤ICTを活用した小中一貫教育の導入	P16
	⑥特別支援教育の充実	P14
	⑦ICT教育と国際教育の推進	P16
	⑧いじめ・不登校の対策の推進	P18
	⑨安全な学校づくり	P22
	⑩学校給食体制の充実	P24
	⑪地域の教育力の向上	P20
	⑫文化教育の推進と地域愛の醸成	P36
	⑬幅広い図書利用の推進	P38
III 「住み続けるなら三郷町」	⑭生涯学習の推進	P28
	⑮青少年の健全育成の充実	P30
	⑯人権教育・啓発の推進	P32
	⑰文化センターの充実	P34
	⑱文化活動への支援	P36
	⑲図書館の充実	P38
	⑳生涯スポーツの推進	P40
㉑スポーツ施設の整備	P42	

令和3年度主要事業と主な内容

点検・評価項目	主要事業及び内容
①学校(園)施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事等
	①三郷北小学校大規模改造工事(第2期) ※教室棟・職員室増築 令和3年度竣工(令和2年度から繰越)
	②三郷北小学校受変電設備更新工事
	③三郷北小学校増築棟教育ネットワーク敷設工事
	④三郷北小学校体育館照明器具LED化工事
	⑤三郷小学校老朽化診断業務委託
	⑥三郷小学校教室背面ロッカー修繕工事
⑦町立学校・園 手洗い場自動水栓化・検温モニター機器購入(新型コロナウイルス感染予防)	
②教職員研修の充実	・小・中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
③就学の支援	・小・中学校就学援助、育英振興助成 ※令和元年度10月以降、幼稚園無償化
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣
	①町立学校授業支援システム・遠隔通信システムの活用
	②デジタル教科書の活用
	③ICT支援員の継続配置
	④町立学校(各校1名配置)及び幼稚園・保育園へのALT派遣
	⑤教職員用情報端末(PC)購入
	⑥遠隔授業の推進(新型コロナウイルス感染予防のための休校時等及び不登校対策の一環)
・ICTを活用した小中一貫教育の推進	
⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー・心の相談員の活用、メンタルヘルス相談、不登校対策連絡会
⑦地域の教育力の向上	・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業 ※一部中止や縮小実施
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育の推進、食物アレルギー対応、地産地消の推進
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援
⑪生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営 ※一部中止や縮小実施
⑫青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、成人式 ※ふれあいのつどい、教育講演会は中止
⑬人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談※一部中止や縮小実施
⑭文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援 ※一部中止や縮小実施
	・施設整備
	①文化センター南都銀行跡内部改修工事(LAN工事含む)
	②文化ホールエアコン修繕
	③文化センターゴミステーション改修工事
	④文化センターデジタル印刷機購入
⑤文化センター検温モニター機器購入(新型コロナウイルス感染予防)	
⑮文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
⑯図書館の充実	・情報資料の提供
	・施設整備(駐車場通路屋根設置工事・防犯カメラ増設・2階身障者用トイレ修繕・地下トイレ天井漏水修繕等)
	・新型コロナウイルス感染予防対策(検温モニター機器購入・カウンターパーテーション購入)
	・子ども読書の推進、生涯学習事業の推進
⑰生涯スポーツの推進	・スポーツの推進、軽スポーツ事業
⑱スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理
	①竜田運動公園・勢野グラウンド・中央公園多目的広場(凍結防止)整備工事
	②スポーツセンター防火シャッター改修
	③各種スポーツ施設検温モニター機器購入(新型コロナウイルス感染予防)
	④ウォーターパーク私設水道メーター・小便器センサー修繕
	⑤ウォーターパークスライダー改修工事
	⑥ウォーターパーク生活排水ポンプ・高圧ケーブル等改修工事
	⑦各種スポーツ施設(ウォーターパーク・中央公園多目的広場管理棟)エアコン更新工事
【指定管理】スポーツセンター・ウォーターパーク ㈱翔成(H30年度～R4年度)	

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の安全性を確保します。 誰もが利用しやすい環境とするため、学校の中で共生社会を具現化できる施設の整備を行います。 SDGsの理念に基づき、脱炭素化の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備を行います。 「新しい時代の学び」を実現する学校施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 三郷北小学校の在籍児童数に対して不足している教室及び職員室の増築及び整備を目的として、令和2年度から繰越事業として実施している「三郷北小学校大規模改造工事【第2期】」の竣工。 全ての児童生徒が「ともにおもい ともにまなび ともにそだつ」ことができる学校施設環境を整備するとともに、各設備の安全及び老朽化対策を逐次実施。 当初の建設時に比べ児童数が著しく減少している三郷小学校では、余剰教室が増加しており、児童数に対して施設の規模が過大となっていることに加え、老朽化も顕著なことから、老朽化診断業務を実施し、長寿命化や建替等の検討を要する。 校(園)内における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼児・児童・生徒及び教職員が共有する水道蛇口を自動水栓蛇口に更新。(令和2年度からの繰越事業※コロナ禍で令和2年度内に部品の納品が不可能となったため)
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○各学校・園の施設整備状況(主な補修工事等、事業費200,000円以上)		
	【三郷小学校】		
	工事名称	事業費(円)	補助金等(円)
	止水弁漏水修繕	399,223	0
	教室児童用ロッカー修繕	1,703,900	0
	体育館屋根雨漏り修繕	332,750	0
	インターホン設置工事	391,050	0
	手洗い場等自動水栓化(R2繰越事業)	5,619,900	5,919,900
	合計	8,446,823	5,919,900
	【三郷北小学校】		
工事名称	事業費(円)	補助金等(円)	
体育館雨漏り修繕	280,000	0	
放送機器修繕	294,800	0	
体育館照明LED化工事	1,320,000	0	
増築棟教育ネットワーク敷設工事	2,999,920	0	
戸棚移設及びOAフロア撤去工事	203,500	0	
大規模改造工事【第2期】	158,856,500	100,581,000	
受変電設備更新工事	35,260,500	0	
増築棟警備設備設置工事	400,500	0	
手洗い場等自動水栓化(R2繰越事業)	5,086,510	5,086,510	
合計	204,702,230	105,667,510	
【三郷中学校】			
工事名称	事業費(円)	補助金等(円)	
手洗い場等自動水栓化(R2繰越事業)	3,195,940	3,195,940	
合計	3,195,940	3,195,940	
【南畑幼稚園】			
工事名称	事業費(円)	補助金等(円)	
手洗い場等自動水栓化(R2繰越事業)	1,697,300	1,697,300	
合計	1,697,300	1,697,300	

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫負担金を活用した「三郷北小学校大規模改造工事【第2期】」の竣工により、不足していた教室を6教室増設し、児童数の増加に伴う教職員数の増加により手狭になっていた職員室についても増床できた。 ・施設・設備の老朽化対策として、小学校において体育館の雨漏り補修、教室の児童用ロッカーの修繕及び放送機器の修繕など、各種補修工事を実施した。また、三郷北小学校については、増築された教室において無線ネットワーク設備の増設を実施した。 ・三郷小学校の著しい老朽に加え、学校施設規模の適正化を図るため、長寿命化又は建て替えを検討するため、老朽化診断業務を委託した。 ・南畑幼稚園においては、施設工事等は発生していないが、老朽に伴う軽微な補修を逐次実施した。 <p style="text-align: right;">【成果指標①】</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①学校、園改修等(三小耐力度調査含む)	補修・改修件数	件	64	45	R 2 331,969,560 R 3 228,789,177

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①町立小学校校舎の経年による劣化等に対応するため、バリアフリー化も含めた改修及び補修の実施。</p> <p>②築後50年を迎える三郷小学校では、雨漏りや水道配管の水漏れなど経年による老朽化が顕著であるため、校舎全体の耐力度調査を実施する必要がある。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①三郷小学校の児童数に対する施設規模適正化に向け、施設の複合化及び地域への開放等、さまざまな可能性を検討する必要がある。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①三郷北小学校は、令和元年度より大規模改造工事を実施しており、第1期工事(エレベーター設置・外壁改修)は令和2年度に、第2期工事(校舎等・職員室増築)については令和3年度に竣工した。しかしながら、校舎内やインフラ等の老朽は進んでおり、今後も両小学校において経年劣化に伴う改修・補修の更なる増加が見込まれる。令和2年度には個別施設長寿命化計画を策定したが、今後、維持管理に係る費用が嵩むことは必至であり、国庫及び県の補助金を有効に活用しながら計画的に整備する必要がある。</p> <p>②令和3年度に三郷小学校の校舎の耐力度調査を実施した結果を可及的速やかに精査し、費用対効果も踏まえ、今後の計画を立てていく。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①三郷小学校については、現在設置されていないエレベーターや学校施設規模及び「新しい時代の学び」にあった運用方法等も勘案し、早急に校舎の長寿命化もしくは建て替え等も含めた検討を要する。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・三郷北小学校における大規模改造工事を令和3年度内に竣工したが、今後の維持管理や補修・整備について、一定の計画性を持って効果的な施設整備を進める。 ・令和2年度に策定した町立学校(園)の個別施設長寿命化計画に基づき、緊急性・優先性及び費用対効果を考慮した整備を進める。 ・障がいの有無にかかわらず、共に学ぶ場、そして「新しい時代の学び」を実現する多様な学びの場を整備し、医療的ケアの対応も含め、きめ細かな学校施設整備を行う。 ・すべての子どもたちの可能性を引き出せるよう、また、安全に健やかに学べる学校環境を作る。 ・三郷小学校の耐力度調査の結果を基に、校舎の長寿命化又は建て替えを視野に入れた検討を進める。 		

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県など関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施して実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させる。また、県の研修に加え、生駒郡地教委主催で年2回研修会を実施する。 ・発達障がい等で特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 ・日々発展するICT教育機器の整備に即応するため、ICTを活用した指導方法の研修会を必要に応じ実施する。 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会では、数回の研修であったが、実践交流の場となり、現在の幼児教育の置かれている状況や課題を学ぶことができた。【成果指標③】 ・特別支援教育研修では、講師の講評の中から、保育内容について改善するポイントを見出すことができた。また、現在の幼稚園教育の進むべき方向性を見出すことができた。 ・特別支援を必要とする幼児の対応については、令和3年度も引き続き、作業療法士による巡回相談を実施したことにより、さらに一人ひとりの行動の意味を理解し、個に応じた支援方法や保育内容について学ぶことができた。 ・実践例やエピソードを持ち寄ることにより、自らの保育内容や環境についてよりよく深く見つけなおすことができた。また、県教育委員会発行の「はばたくなら」への実践事例掲載を通しての研修では、幼児期の終わりまでに育ってほしい力について深く学ぶ機会をもつことができた。 ・新任研修では、こども未来課内の教育コーディネーター・担当主幹を講師に招き、幼稚園教員としての根幹を具体的な講話を通して研修することができた。 ・日案・週案の見直し発達に必要な活動や援助を明記することにより、明日につながる振り返りや反省をすることができた。 <p>◎県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者 9人 ①第1回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者7人） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞ 安堵中学校校長による教員としての心構えの講話。初任者が定年退職するまでの、それぞれのステージでの課題となすべき仕事の説明を聞いた。また、初任2年目の先輩の教員から経験した気づきと課題が提示され、内容を共有し研修を深めた。 ②第2回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者7人） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞ 授業力を向上させるための工夫等について自ら情報発信し今後の授業実践に生かす取組みとした。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでプレゼン交流を予定していたが、日程調整がつかず紙面交流を行った。 <p>【特別支援教育研修会】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止</p> <p>○幼稚園</p> <p>【生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 各種部会研修（実践事例持ち寄り）特別支援教育部会（講演会） 回数 全体研修：県3回 部会研修：（放送教育部会）郡4回（特別支援教育部会）郡2回（実践検討部会）郡4回 <p>【幼稚園教員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新任研修（対象者1名） <ul style="list-style-type: none"> 内容 ・外部講師による保育の組み立て方及び指導。 ・こども未来課教育コーディネーター、担当主幹による幼児教育の基本についてや教員の心構えについて研修を実施した。 回数：県年10回・園内年10回 ②職員研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 研究テーマに迫る実践例やエピソードを持ち寄り、職員全員で意見を出し合う中で幼児の内面を探り、環境構成の充実を図るとともにわかりやすい表記の仕方について研修する。 奈良県教育委員会が作成している「はばたくなら」への実践事例集に掲載するにあたり、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿について研修を深めるとともに、幼稚園の特色を活かした表記の仕方について意見を出し合いまとめる。 ・年間計画、積み上げていく活動内容について中身を点検・見直しを行い計画を立てる。 ・特別支援を必要とする幼児の行動の見方や実際の保育に生かせる指導方法を学ぶ。 回数 月1～2回 <p>◎県実施研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修への参加→生駒郡地教委研修参加人数：7人 ・教職経験に応じたステージ研修及び職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：41人（三郷小10人、北小11人、三郷中20人） ・教育コーディネーター、担当主幹から幼児教育の基本についてや教員の心構えについて講話を受ける。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 生駒郡地教委主催の初任者研修は、授業展開や教材・教具の工夫・ICT機器の活用、学級運営の仕方、児童生徒との接し方、保護者対応等の実践的なもので日常の教育活動に活かされている。また、各自の経験・実践の情報を発信し交流することで、自己の取組みをふり返る重要な機会を得た。【成果指標①】 特別支援教育研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は中止。【成果指標②】 ステージ別研修には、41人が受講し、講座数は延べ65講座であった。【成果指標④】 ICT教育研修については、県主催のオンライン研修や各校において教職員が各種部会を作り、自主的に前向きな研修を開催し、ICTを活用した授業の積極的な運営に取り組んだ。【成果指標⑤】 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 生駒郡幼児教育研究会、奈良県幼児教育研究会では、コロナ禍で例年の半数の研修会であったが実践交流の場となった。また、現在の幼児教育の置かれている状況、課題を学ぶことができた。【成果指標③】 幼稚園教員研修では幼児の内面や遊びの見取り方を学ぶことができた。また、自分の実践を理論立てて振り返ることを学び、あらためて幼稚園教育の大事さを感じることもできた。特別支援教育では巡回相談を実施することで、支援を必要とする一人ひとりの幼児の行動の意味を理解し、個に応じた支援方法を学ぶことができた。 今年度はコロナ禍で幼児の実態については報告しあうことができたが、中学生の職業体験や小学校への体験入学など、予定していた事業も中止になるなど、思うように保幼小中と連携の機会をもつことができなかった。 <p>○教員研修における人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子どもたち一人ひとりを大切にせる教育活動に役立てた。また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①初任者研修		研修回数(町実施)	回	2	2
②特別支援教育研修会・第3ブロック研修会		参加人数	人	0	0	R2 R3
③生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会		研修回数	回	11	13	R2 R3
④ステージ別研修		参加人数	人	33	41	R2 R3
⑤ICT教育研修		研修回数(1校あたり)	回	7	5	R2 R3

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①幼保小中連携については、それぞれの校種の違いによる教育内容や指導方法等、子どもたちが学校生活の変化に対応できるよう、各校種相互の現状理解と適切な指導が教員に求められる。</p> <p>②ICTを活用した小中一貫教育の導入に向けて、教員による電子黒板・タブレットPC等の機器の効果的な利用はもとより、子どもたち自らの機器の活用に係る適切な指導が教員に求められる。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①コロナ禍の休校をはじめ、いかなる状況にも対応できるオンライン授業をすべての学年の児童・生徒に提供できるスキル(教員及び児童生徒)の確立とメディアリテラシーの構築が喫緊の課題となっている。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①幼保小中教育の連携は、「新しい時代の学び」には必要不可欠である。この連携には行政も関わり、関係機関及び教員相互の情報共有及び意思疎通を図るため、一定の共通のゴールを見据え、校種を越えた研修や情報交換などの協議の場を通じて町ぐるみで子どもの段階的な成長をサポートできる体制を構築する。</p> <p>②授業におけるICT機器の効果的な活用については、そのスキル習得についても教員のやる気と主体性のもと、様々な場面におけるICTの活用が活発になってきている。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①今後、更に変容し得る学びのスタイルに即応する体制の構築が急務であり、オンライン授業のメリットとデメリットの精査及び積極的なICT活用に加え、デジタルイノベーションの推進とそれに伴う教員のスキルアップが不可欠である。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育に求められるニーズの多様化や変革期に相まって、コロナ禍を契機に学びのスタイルが大きく変容していく可能性が高い。このことから、福祉的かつ社会的な機能を有する学校の役割を再認識し、これまでのやり方に固執しない教育行政と教員の柔軟性も求められるため、広い視野と見識を得るための研修の実施及び自己研鑽に努める。 施設分離型の「小中一貫教育」の効率的かつスムーズな実施のため、学習面のみならず、子どもたちが健康に、有意義な学校生活を送るためにも、諸課題の解消と各校教員間の共通認識を深めることはもとより、幼保小中及び行政との連携を密に図り、研修や情報交換の場を積極的に設け、具体的な取組みを推進する。 幼稚園における教員の資質向上を図るため、各種研修への積極的な参加を促すと同時に研究テーマに沿った園内研修や保育内容を検討する機会を設けていく。また、特別支援教育の巡回相談や県の支援事業などを積極的に活用し、スキルアップを図る。

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	③就学の支援	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないよう、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	◎小中学校就学援助【国庫補助事業】 ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 ○育英振興助成金 ・町内在住の中学校卒業生で、経済的な理由で高等学校等への進学が困難な生徒に対し、新入学に際して要した経費の一部を助成する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎小中学校就学援助【国庫補助】																									
	【要保護児童生徒就学援助費】																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>支給対象者(再掲・人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>国庫補助額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>81,402</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22</td> <td>3</td> <td>81,402</td> <td>40,000</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	支給対象者(再掲・人)	就学援助費(円)	国庫補助額(円)	三郷小学校	11	3	81,402	40,000	三郷北小学校	0	0	0	0	三郷中学校	11	0	0	0	合計	22	3	81,402	40,000
	学校名	認定者(人)	支給対象者(再掲・人)	就学援助費(円)	国庫補助額(円)																					
	三郷小学校	11	3	81,402	40,000																					
三郷北小学校	0	0	0	0																						
三郷中学校	11	0	0	0																						
合計	22	3	81,402	40,000																						
※令和3年度認定者全体のうち支給対象者は修学旅行費及び卒業アルバム代の支給対象者のみ																										
【準要保護児童生徒就学援助費】																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>給食費(円)</th> <th>援助費合計(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>72</td> <td>2,297,291</td> <td>2,880,590</td> <td>5,177,881</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>29</td> <td>844,846</td> <td>1,166,350</td> <td>2,010,196</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>61</td> <td>4,031,856</td> <td>2,625,000</td> <td>6,656,856</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>162</td> <td>7,173,993</td> <td>6,670,940</td> <td>13,844,933</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)	三郷小学校	72	2,297,291	2,880,590	5,177,881	三郷北小学校	29	844,846	1,166,350	2,010,196	三郷中学校	61	4,031,856	2,625,000	6,656,856	合計	162	7,173,993	6,670,940	13,844,933	
学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)																						
三郷小学校	72	2,297,291	2,880,590	5,177,881																						
三郷北小学校	29	844,846	1,166,350	2,010,196																						
三郷中学校	61	4,031,856	2,625,000	6,656,856																						
合計	162	7,173,993	6,670,940	13,844,933																						
◎育英振興助成金																										
新入学に際して保護者等が負担した経費(授業料を除く。)のうち、学校区分に応じて、公立は3万円、私立は5万円を上限として助成金を支給。																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>認定者(人)</th> <th>助成額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>16</td> <td>474,007</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>1</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>524,007</td> </tr> </tbody> </table>	学校区分	認定者(人)	助成額(円)	公立	16	474,007	私立	1	50,000	合計	17	524,007														
学校区分	認定者(人)	助成額(円)																								
公立	16	474,007																								
私立	1	50,000																								
合計	17	524,007																								

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の就学援助については、小・中学校合わせて全児童生徒1,665名中、認定者は184名となり、認定率が11.1%で前年度(認定率10.1%)と比較して微増し、支給額については前年度に比して1,106,999円増となった。令和3年度は、各校において最終学年の支給対象者が増加したことに伴い、支給額が増加したことに加え、昨年度の修学旅行についてはGo To Travelを利用したことにより修学旅行の費用を抑えることができたが、令和3年度は補助制度がなかったため、昨年と同様の行程であったものの、修学旅行代が高くなったため、支給額が増加した。また、今年度は県立中学校に通う生徒1名の認定もあり、町立学校以外に就学する生徒に対して支援を行った。【成果指標①】 育英振興助成金については、17名(公立16名・私立1名)の対象者に対し、制服等の高校等入学に要した費用の一部を助成した。前年度より3名増であったため、支給総額は微増となった。【成果指標②】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①小中学校就学援助		認定者数	人	169	184
認定率			%	10.1	11.1	R 2 R 3
②育英振興助成金		認定者数	人	14	17	R 2 460,000 R 3 524,007

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町立以外の小中学校へ通う児童・生徒の保護者の就学援助制度の認知。 ②新型コロナウイルス感染症による減収世帯への就学援助実施方法の検討。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助におけるGIGAスクールの整備に伴う各家庭のインターネット通信費用の項目が追加されたことに伴い、その支給基準や支給方法について検討が必要である。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助の制度については、町ホームページに掲載及びFacebookで告知し、町立学校以外に通う児童生徒の世帯にも制度の周知に努めているが、未だ申請がない対象世帯も見受けられる。 ②新型コロナウイルス感染症による就学援助の認定増加は見受けられず、コロナ禍の影響を受けている世帯の実態把握が困難である。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インターネット通信費用については、学校からの端末(PC)の持ち帰りが学年によって差異がある状況下で、支給対象や支給要件や方法を整備する必要がある。また、きょうだいがいる家庭では世帯給付にするのか個人給付にするべきかも検討が必要である。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 育英振興助成金制度の認知定着に向け、就学援助受給世帯等、あらかじめ制度の対象となることが判明している世帯に対して申請勧奨を行う等の学校からの個別対応やホームページの活用等により、その周知を更に徹底する。 就学援助について、今後も引き続き、国の動向も踏まえ、実状に応じた就学援助の対象費目の充実を図る。また、未だ感染拡大が抑えられないコロナ禍による減収世帯等への支援の在り方についても、更なる検討を進め、必要とする世帯に支援が行き渡るように努める。

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・学校教育において、特別な支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、子どもたちの持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、それぞれに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。 <p>○教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者の不安や悩みに寄り添い、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を実施。 <p>○特別支援教育担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小・中学校の連携を強化し、情報共有や適切な就学指導方法を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得額等の条件を付して、対象者に学用品費や学校給食費などの一部を援助する。 ※小中学校就学援助の認定者は支給対象外。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒は増加傾向にあり、個に応じたきめ細かな支援をするため、町費による講師を各学校に配置した。また、医療的ケアを要する児童に対応するため、三郷北小学校及び南畑幼稚園においては看護師(パートタイム)を配置した。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">【講師数】</th> <th style="text-align: center;">【医療的ケア看護師数】</th> <th style="text-align: center;">【特別支援入級者数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南畑幼稚園</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td style="text-align: center;">13人</td> </tr> <tr> <td>三郷小学校</td> <td style="text-align: center;">5人</td> <td style="text-align: center;">0人</td> <td style="text-align: center;">37人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td style="text-align: center;">7人</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">53人</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">0人</td> <td style="text-align: center;">30人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">19人</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">133人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者を対象に、従前、生駒郡合同で行っていた教育相談を令和3年度より各町単独で実施することとなり、令和3年8月に三郷町文化センターにおいて実施した。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">【相談人数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校区</td> <td style="text-align: center;">11人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校区</td> <td style="text-align: center;">25人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">36人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特別支援教育担当者連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実を図るため、小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者間で情報交換と連携を図る場として平成21年度より設置している「特別支援教育担当者連絡会議」を年間4回開催した。(5月・6月・9月・12月開催) <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</p> <p>【就学奨励費認定者数】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td style="text-align: center;">13人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td style="text-align: center;">32人</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td style="text-align: center;">12人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">57人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度決算額：2,346,819円(補助額 1,151,000円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tbody> <tr> <td>(内訳) 三郷小学校</td> <td style="text-align: center;">462,639円(補助額 227,000円)</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校1</td> <td style="text-align: center;">1,98,630円(補助額 585,000円)</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td style="text-align: center;">685,550円(補助額 339,000円)</td> </tr> </tbody> </table>		【講師数】	【医療的ケア看護師数】	【特別支援入級者数】	南畑幼稚園	4人	1人	13人	三郷小学校	5人	0人	37人	三郷北小学校	7人	2人	53人	三郷中学校	3人	0人	30人	合計	19人	3人	133人	【相談人数】		三郷小学校区	11人	三郷北小学校区	25人	合計	36人	三郷小学校	13人	三郷北小学校	32人	三郷中学校	12人	合計	57人	(内訳) 三郷小学校	462,639円(補助額 227,000円)	三郷北小学校1	1,98,630円(補助額 585,000円)	三郷中学校	685,550円(補助額 339,000円)
	【講師数】	【医療的ケア看護師数】	【特別支援入級者数】																																												
南畑幼稚園	4人	1人	13人																																												
三郷小学校	5人	0人	37人																																												
三郷北小学校	7人	2人	53人																																												
三郷中学校	3人	0人	30人																																												
合計	19人	3人	133人																																												
【相談人数】																																															
三郷小学校区	11人																																														
三郷北小学校区	25人																																														
合計	36人																																														
三郷小学校	13人																																														
三郷北小学校	32人																																														
三郷中学校	12人																																														
合計	57人																																														
(内訳) 三郷小学校	462,639円(補助額 227,000円)																																														
三郷北小学校1	1,98,630円(補助額 585,000円)																																														
三郷中学校	685,550円(補助額 339,000円)																																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は年々増加傾向にあることから、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置。令和3年度は、三郷小学校にフルタイム5人、三郷北小学校にフルタイム7人、三郷中学校にフルタイム3人、南畑幼稚園にはフルタイム4人(各クラスに1名)の計19人を配置し、医療的ケア児の対応に、三郷北小学校2人、南畑幼稚園で1人の看護師(パートタイム)を配置した。なお、南畑幼稚園については、前年度比3名増となっている。【成果指標①】 ・就学前教育相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と小学校の特別支援担当の教員が対応し、保護者の悩みや家庭や園での生活の様子等幼児の特性・現状の把握をし、就学先においての希望や不安等について相談に応じた。令和3年度の相談件数も30件を超え、年々増加傾向にある。なお、相談内容としては、特別支援学級入級に係る相談や質問等が多かった。【成果指標②】 ◎小中学校における特別支援教育就学奨励費の給付認定者は、特別支援学級入級児童生徒数118名中57名(就学援助認定者の24名を除く。)と前年度に比べ6名増えているものの、特別支援学級入級者総数に対する給付認定者の率は、48%と年々減少傾向にある。一方、支給額の増加については、高額な支給項目のある小学1年生・小学6年生及び中学3年生の人数が昨年より増えたこと及び国の方針で新入学学用品費の支給額が増額されたことに加え、令和2年度にあったGo to travelによる修学旅行代金の割引が令和3年度はなかったこと等が増額の要因となった。【成果指標③】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)	
						R2	R3
①特別支援教育の推進		配置講師数	人	16	19	51,665,062	55,599,024
		配置看護師数	人	3	3	3,171,901	2,975,409
②教育相談		相談人数	人	33	36		
③特別支援教育就学奨励費		認定者数	人	51	57	1,706,368	2,346,819

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年々、特別支援を必要とする幼児・児童・生徒が増加しているとともに、個別の教育的ニーズも多様化している。また、授業内容や子どもたちの体調等により、別室における適切な支援が必要となるケースが増えてきていることから、意図的・計画的な個別の対応方法を検討する必要がある。 ②就学前教育相談については、生駒郡内においても年々件数が増加しており、生駒郡合同教育相談の実施会場を増設する状況になってきていることから、町において随時相談できる体制構築の検討が必要である。 ③令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行されたことに伴い、医療的ケア児又は重度障がいを持つ児童生徒が町立学校への入学を希望するケースは今後増加することが考えられることから、医療的ケアの充実等、町立学校(園)における特別支援体制の更なる拡充が必須である。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障がいの有無にかかわらず、共に学ぶ場を作ることを目的として、本町では独自で原学級保障を行っているが、個々に応じた指導実施の是非から、その継続について県から異論が生じている。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①重層的支援も視野に置き、教育と福祉など行政分野を越えた切れ目ない連携を一層推進することにより、個に応じた指導や支援を行う体制を構築するため、教員の配置に加え、特別支援員の雇用も検討する。 ②就学前教育相談については、年々件数が増加しており、これまでのように生駒郡4町合同での実施が難しくなり、令和3年度から各町において教育相談を実施したことにより、きめ細かな対応と効率化が図れた。 ③児童生徒個々の状況に応じた適切な対応と本来あるべき支援の方法について、関係各機関と連携し最善の支援のあり方を検討する。また、入学前から対象児の状態を可能な限り早期に把握するよう努めると共に、その教育のハード・ソフト両面において、国庫及び県補助金等を最大限に活用した環境整備を前向きに検討。医療サイドから対応する看護師はもちろん、すべての教員が教育的支援ができるよう、そのスキルアップを図るため、研修機会等を積極的に活用する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①すべての子どもたちが、原学級において共に学習するにあたり、個々に応じたきめ細かな指導を更に充実させるため、従前より本町で雇用している特別支援の教員の配置に加え、特別支援員の配置を行う。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期からのケアやその経過や状態把握も重要であることから、乳幼児・児童・生徒及びその保護者等のニーズはもとより、個々の状況、また、その年齢に応じた正しい対応ができる総合的なサポート体制を構築すべく、関係部署及び各機関の連携強化を図り、学校現場においても講師の配置に限らず、特別支援員の配置を計画的に進める。 ・障がいの有無やその状況に関わらず、町立学校に入学することを希望するすべての子どもたちが共に学び、共に育つことができるよう、ハード・ソフト両面での体制整備を進める。 ・南畑幼稚園に在籍する特別支援を要する子どもたちに、適切な指導や必要な医療的ケアを行うため、指導主事による指導はもとより、特別支援教育の巡回相談を積極的に活用し、次につなぐ教育と支援を行っていく。 ・令和3年9月に施行された医療的ケア児支援法に則り、今後もすべての子どもたちが快適かつ健康に学校生活を送るために必要な学校環境整備を図る。 		

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・校内におけるLAN整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実を図ります。 ・義務教育9年間の教育における系統性を確保することにより、学びの意欲の向上と学校段階間の円滑な接続を確保するため、ICTを活用した「施設分離型」の小中一貫教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○校内LAN・教育用コンピュータ・校務支援システムの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷北小学校増築棟においてもICT教育が実施できるよう、校内ネットワーク環境を整備する。 ・令和2年度に導入した一人一台の情報端末について、学校内での活用率も増加しているため、令和3年度以降、家庭への持ち帰りを実施する。 ・三郷中学校では、学習室登校の生徒及び不登校生徒に対し、高校受験等を控える生徒の学力保障のためにも、授業映像をリアルタイムでオンライン配信を行う。 ・国の「公立学校情報機器整備費補助金」を活用し、教員用のChromebookを導入する。 ○ALT (Assistant of Language Teacherの略。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手) 派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・生きた外国語の学習や異文化に対する理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。 ・幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、南畑幼稚園及び西部保育園におけるALTとの交流会を行う。 ○ICTを活用した小中一貫教育導入 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校間又は小中学校間の遠隔授業や中学校体験入学のオンライン実施等、各種授業や行事において児童生徒間及び教員間の交流を促進する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○ICT機器等整備状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="3">設置台数</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="3">R4.3.31現在</th> </tr> <tr> <th></th> <th>三郷小学校</th> <th>三郷北小学校</th> <th>三郷中学校</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報端末(Windows)</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>※教員1人1台</td> </tr> <tr> <td>情報端末(Chromebook)</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>75</td> <td>※教員用</td> </tr> <tr> <td>情報端末(Chromebook)</td> <td>460</td> <td>730</td> <td>535</td> <td>1,725</td> <td>※児童生徒1人1台</td> </tr> <tr> <td>電子黒板</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>77</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書画カメラ</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>77</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校務用PC(ノート)</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>※教員1人1台</td> </tr> <tr> <td>学習用PC(デスクトップ)</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>115</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校務系・学習系サーバ</td> <td colspan="3">各1×2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>国の補助金を活用しICT機器の追加整備を実施。児童生徒とのオンライン通信の円滑化を図るため、教員用情報端末(chromebook)を購入。また、休校等や端末持ち帰り学習の際にWi-Fi環境未整備家庭でも使用できるよう、モバイルルータを貸し出した。</p>				種 類	設置台数			計		R4.3.31現在				三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校			情報端末(Windows)	50	50	50	150	※教員1人1台	情報端末(Chromebook)	20	25	30	75	※教員用	情報端末(Chromebook)	460	730	535	1,725	※児童生徒1人1台	電子黒板	25	29	23	77		書画カメラ	25	29	23	77		校務用PC(ノート)	50	50	50	150	※教員1人1台	学習用PC(デスクトップ)	35	38	42	115		校務系・学習系サーバ	各1×2			2											
	種 類	設置台数			計																																																																									
		R4.3.31現在																																																																												
		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校																																																																										
	情報端末(Windows)	50	50	50	150	※教員1人1台																																																																								
	情報端末(Chromebook)	20	25	30	75	※教員用																																																																								
	情報端末(Chromebook)	460	730	535	1,725	※児童生徒1人1台																																																																								
	電子黒板	25	29	23	77																																																																									
	書画カメラ	25	29	23	77																																																																									
	校務用PC(ノート)	50	50	50	150	※教員1人1台																																																																								
学習用PC(デスクトップ)	35	38	42	115																																																																										
校務系・学習系サーバ	各1×2			2																																																																										
○ICT支援員	<p>ICTを活用した小中一貫教育を更に推進し、オンライン授業の活性化やその手法の充実を図るよう積極的な活用のサポートを受けるため、令和3年度はICT支援員派遣日数を増加した。</p> <p>(単位:日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>三郷小学校</th> <th>三郷北小学校</th> <th>三郷中学校</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣日数</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table>					三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	計	派遣日数	48	48	48	144																																																																
	三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	計																																																																										
派遣日数	48	48	48	144																																																																										
○ALT派遣	<p>令和2年度より各小学校及び中学校に1校1名ずつALTを配置。併せて、町立幼稚園・保育園にも三郷小学校のALTを派遣し、英語学習や異文化理解等の活動を実施。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="2">クラス数<A></th> <th colspan="2">授業時間</th> </tr> <tr> <th>三小</th> <th>北小</th> <th>年間授業数(時間)</th> <th>合計授業数(時間)<A>×</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中学校</td> <td>学年</td> <td colspan="2">三中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td colspan="2">6</td> <td>35</td> <td rowspan="4">595</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td colspan="2">5</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td colspan="2">6</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>学年</td> <td>三小</td> <td>北小</td> <td>年間授業数(時間)</td> <td>合計授業数(時間)<A>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">小学校</td> <td>3年生</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>各35</td> <td rowspan="4">1,435</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>各35</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>各70</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>各70</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">幼稚園・保育園</td> <td>年齢</td> <td>南畑</td> <td>西部</td> <td>年間授業数(時間)</td> <td>合計授業数(時間)<A>×</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>各3</td> <td rowspan="2">16</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>各5</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td colspan="2">48</td> <td>541</td> <td>2,046</td> </tr> </tbody> </table>					対象	クラス数<A>		授業時間		三小	北小	年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×	中学校	学年	三中				1年生	6		35	595	2年生	5		35	3年生	6		35	小学校	学年	三小	北小	年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×	小学校	3年生	3	4	各35	1,435	4年生	2	4	各35	5年生	3	4	各70	6年生	3	4	各70	幼稚園・保育園	年齢	南畑	西部	年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×	4歳児	1	1	各3	16	5歳児	1	1	各5	合 計		48		541	2,046
	対象	クラス数<A>		授業時間																																																																										
		三小	北小	年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×																																																																									
中学校	学年	三中																																																																												
	1年生	6		35	595																																																																									
	2年生	5		35																																																																										
	3年生	6		35																																																																										
小学校	学年	三小	北小	年間授業数(時間)		合計授業数(時間)<A>×																																																																								
小学校	3年生	3	4	各35	1,435																																																																									
	4年生	2	4	各35																																																																										
	5年生	3	4	各70																																																																										
	6年生	3	4	各70																																																																										
幼稚園・保育園	年齢	南畑	西部	年間授業数(時間)	合計授業数(時間)<A>×																																																																									
	4歳児	1	1	各3	16																																																																									
	5歳児	1	1	各5																																																																										
合 計		48		541	2,046																																																																									
○ICTを活用した小中一貫教育	<p>「施設分離型」の小中一貫教育を導入していることから、前年度に引き続きICTを活用した遠隔授業を実施。小学校間の地域学習を通じて相互の校区紹介や共同の総合学習や小学校児童を対象とした中学校ALTによる英語授業を実施した。また、例年、小学校合同で実施している「車イスダンス」の鑑賞をコロナ感染予防のためオンラインで実施し、中学校生徒会が小学校に向けて「生徒会ラジオ」という番組を作成・配信し、小学生の中学校入学に対する不安の解消に役立った。</p>																																																																													

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎ICT機器等の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育機関向けに開発された操作方法が簡略化された情報端末(chromebook)の導入により、授業中における児童生徒に対する操作説明時間を大幅に削減することができ、学校内での活用頻度は飛躍的に増加した。これに伴い、教員と児童生徒の端末の互換性を確保するため、教員用の情報端末(chromebook)を国の補助金を活用し、購入した。また、学校内での活用頻度が増加したことに加え、感染症等による休校等に備え、令和3年度から情報端末の家庭への持ち帰りの開始に伴い、Wi-Fi環境の未整備家庭に対しモバイルルータを貸与するため、上記補助金を活用しモバイルルータを購入した。【成果指標①】 <p>◎ICT教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT支援員は、ICTを活用した授業の補助や授業展開についての助言等、幅広いサポート業務を行っている。本町では平成28年度よりICT機器の導入を進めていることもあり、各校では、ICT教育に係る専門部会を立ち上げるなど、教職員の情報機器活用能力について一定の成果が見られるが、ICTを活用した小中一貫教育の推進、充実及び更なるICT活用補助・指導を行う為、各校においてICT支援員の勤務日数を増加した。【成果指標②】 <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度より新学習指導要領が適用された小学校において、5・6年生は年間70時間、3・4年生は年間35時間の授業時間を確保できるよう令和2年度に引き続き外国人講師の派遣を行った。また、授業時間外においても外国人講師に英語で話しかける児童生徒の姿も見られることから、英語や外国人が児童生徒の生活の中に馴染んでいる。また、小中一貫教育による中学校ALTの小学校に対するオンライン授業も中学校ALTと小学校児童とのコミュニケーションに大きく役立っている。 令和2年度より、町立幼稚園だけでなく町立保育園へも外国人講師の派遣を行い、幼少期から多言語や異文化に慣れ親しむことができるよう異文化交流を行った。 <p>なお、授業時数の増加については、学級数の増加によるものである。【成果指標③】</p> <p>○ICTを活用した小中一貫教育導入</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍を契機に学びのスタイルの大きな変容とともに加速するICT整備に併せて、本町の小中一貫教育に欠かせない「遠隔授業」の実施もスムーズに進み、子どもたちや教員にとって新しい授業スタイルが定着しつつある。 また、中学校では、不登校生徒や学習室登校の生徒に対し、授業中の教室をリアルタイムによるオンライン配信を行い、SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」教育に積極的に取り組んだ。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①ICT教育の推進	ICT機器新規導入数 小中学校合計	台	1,725	121	R 2 34,037,553 R 3 6,140,750
②ICT支援員	派遣日数	日	110	144	R 2 3,025,000 R 3 3,960,000	
③ALT派遣	ALTによる授業時間 各校(園)合計	時間	1,941	2,046	R 2 11,901,036 R 3 12,136,575	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①一人一台の情報端末や個人アカウントを活用する上で、児童生徒が個人情報やインターネットに潜む危険性について理解を深める必要がある。</p> <p>②情報端末の持ち帰りの際の破損、紛失及び盗難時の補償問題や、学習目的外使用により児童生徒がインターネット上でトラブルに巻き込まれる等の様々な問題点が懸念される。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①chromebookは、様々なアプリケーションを活用することができるため、授業において有効なアプリケーション活用を促進し、一人一台の情報端末環境を最大限に活かす方法の検討。</p> <p>②デジタルならではの学びを実現させるため、国が推奨するMBXCBT(メクビット※文科省が開発したオンライン学習システム)への対応の検討。</p> <p>③令和5年度末には既存ネットワーク環境のリプレースとなるため、新たなネットワーク構成及びその予算確保の検討。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①授業の中で定期的に情報セキュリティやインターネットを活用する際のルールやマナー等、危険性や事例を交えた指導の徹底。</p> <p>②情報端末破損等に係る補償については、破損・紛失時等の弁償等について保護者に理解を求める必要があることから、持ち帰り使用時のルールや破損時等の対応等に係る整備。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①教職員のニーズをヒアリングし、他市町村の活用実績等も参考にしながら有益なアプリケーションの選定を行う。</p> <p>②一部学校で既にメクビットの活用をスタートしており、今後、国の動向を注視しながら業者と情報共有を図る。</p> <p>③次の5年を見据えた構成を検討する必要があるため、セミナーや展示会等における情報収集。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止

・学校におけるネットワーク環境の更新について、新時代の学びを支えるICT教育の興津的な活用を見据えたネットワーク構成を検討する。

・文部科学省では、ICTを活用した教育改革を様々な形で推進しているため、国の動向に注視しながら本町に応じた実施方法を適宜検討する。

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門機関によるメンタルヘルス相談や中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 ・ 教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー事業を活用しながら、町独自で「心の相談員」を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託し、児童生徒の悩みに対して、適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談体制の充実を図る。</p> <p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p> <p>○心の相談員 生徒の悩み・不安・ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる「心の相談員」を中学校に配置する。</p> <p>○メンタルヘルス相談 幼児、児童及び生徒とその保護者や教員等も含め、メンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健やかな心身の保持増進に努める。</p> <p>○不登校対策連絡会 町立の小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び登校を促す指導に努め、児童及び生徒の健やかな育成を推進する。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三郷北小学校・三郷中学校へ各1名配置 年間勤務日数 28日(三郷北小学校11日 三郷中学校17日) 相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> ①児童生徒：38回 ②保護者：6回 ③教職員：3回 合計：47回 主な相談内容 不登校への対応、学校生活、友人関係など ※児童生徒へのカウンセリングのほか、教職員などへの助言。 <p>○心の相談員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三郷中学校へ1名配置 年間勤務日数 87日 相談ケース数 40.6回 主な相談内容 不登校問題、学校生活全般、本人に関わる問題など ※その他、全校生徒を対象にこころと生活等に関するアンケートを実施。 <p>○メンタルヘルス相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児、児童生徒、保護者及び教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに相談業務を委託し、専門機関による相談を実施。 相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> ①園児児童生徒：23回 ②保護者：27回 ③教職員：59回 合計：109回 ※延べ回数で計上。 <p>○不登校対策連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の児童生徒の実態把握と情報の共有、その後の現況報告並びに対応について協議・検討を行った。 年間開催回数 10回 <p>○不登校を語る保護者の集い(ブリーズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度は生駒郡教育長会の事業として2回実施。天理大学大学院教授から、保護者に様々な助言がなされた。 主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校児童の保護者の交流及び悩みの共有。 ・ 不登校児童の保護者へのアドバイス。 参加人数 保護者8人、教員3人 ※延べ人数
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめや不登校、その他、児童生徒の抱える問題に対して、引き続き下記の事業を継続実施し、一人ひとりの状況に応じた相談を実施。 ①専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置 <ul style="list-style-type: none"> →前年度に比して相談回数が大幅に増加。令和3年度より三郷北小学校に新たにスクールカウンセラーが配置されたことに加え、中学校において不登校生徒の相談をスクールカウンセラーが担っており、別室登校の生徒に対して継続的に相談支援が行われているためである。【成果指標①】 ②生徒の悩みを気軽に相談できる「心の相談員」の配置 <ul style="list-style-type: none"> →年々、相談回数が増加傾向にある。心の相談員もスクールカウンセラー同様、別室登校の生徒への相談支援を行っているが、スクールカウンセラーと比較すると生徒に対する支援より、教職員へのコンサルテーションが多く行われている傾向にある。これは、本事業が長年継続的に実施されてきたことにより、教職員が教育現場での様々なケースに関する助言を心の相談員に求めやすい環境が定着してきていることによるものと思われる。【成果指標②】 ③専門機関での相談を行うため、メンタルヘルス相談業務の委託（ハートランドしぎさん） <ul style="list-style-type: none"> →県からのスクールカウンセラーの配置が少ない小学校においては、メンタルヘルス相談事業によりハートランドしぎさんの臨床心理士による巡回相談を行っている。巡回相談の日程については学期毎に保護者に配布し、相談事業について周知しているが、教職員からの紹介等も多い。なお、令和3年度の実績は減少しているが、これは通常時の巡回相談に加え、学校で相談しにくい保護者に対し、週1回ハートランドしぎさん内の相談室での相談を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりハートランドしぎさん内の相談室が活用できなくなっていることが影響していると考えられる。【成果指標③】 <p>・不登校児童生徒数は微増している。不登校の主要因として、小・中学校ともに報告されているのが「不安」「無気力」である。このことから、何か特定の要因により学校に行けないというより、自身でも原因がわからず、漠然とした不安等により学校に行けない状況が続いている児童生徒が多いということが考えられる。こうした児童生徒への支援は勿論だが、その保護者等への支援が必要なケースも多い。</p> <p>・本町で雇用している不登校対策指導主事を活用し、不登校児童生徒の支援のみならず、別室登校の児童生徒のフォローもきめ細かに実施しており、不登校からほぼ毎日別室登校できるようになったケースもある。【成果指標④】</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①スクールカウンセラー(県費)	相談回数	回	15	47	R2 R3
②心の相談員(町費)	相談回数	回	385	406	R2 R3	1,814,610 1,563,268
③メンタルヘルス相談	相談回数	回	125	109	R2 R3	580,600 580,600
④不登校対策	不登校児童生徒数	人	25	28	R2 R3	3,751,742 3,545,022

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①不登校児童生徒数に対し、「不登校を語る保護者の集い」の参加者数が少なく、不登校児童生徒の保護者が孤立化している可能性がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症を警戒して登校できないケースや別室登校も出来ていない児童生徒でコンタクトも取りにくいケースの相談体制を整備していく必要がある。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①「不登校を語る保護者の集い」の案内文書を配布するだけでなく、現在、学校で継続的に支援している不登校家庭に対して、働きかけを行う。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①まったく学校に足が向かない不登校の児童生徒に対して、オンライン授業等は実施できているケースもあるため、カウンセラーや臨床心理士などの協力を得て、オンラインを活用した相談支援体制等の構築を検討していく必要がある。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input type="checkbox"/>見直し (内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策と相談支援体制を両立し、相談機会を逸することのない体制づくりを検討する。</p> <p>・幼少期からのケアは重要であり、様々なケースに対応するため、保・幼・小・中及び関係部署や各機関との情報共有をはじめ、更なる連携強化を図る。</p>
--------------	---

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 生涯学習課	教育大綱	I「子育てなら三郷町」 II「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 ・まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 ・学校の環境美化や緑化推進活動などについて、各種団体や地域ボランティアの参加協力を得られるように体制の構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎子ども人権学習支援事業(放課後子ども教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後の居場所作り及び子どもの様々な活動を支援する事業を実施し、地域ぐるみの教育活動の推進を図る。 ・各小中学校において、地域指導員の指導のもと、和太鼓、手話コーラス、ゲートボールなど様々な体験活動を展開する。 <p>◎学校支援地域本部事業(地域学校協働活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール設立を視野に入れ、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動に関わるボランティアを地域から募り、学校における環境整備や教育活動の支援の更なる充実を図る。 <p>◎学習支援塾(地域未来塾)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生を対象に、地域人材、教職員及び教育委員会が一体となり、放課後を活用した学習支援を行うと共に、進路選択、友人関係及び家庭環境に不安や悩みを抱える生徒の放課後の居場所づくりの一端を担う。 <p>☆上記3事業が県補助事業(学校・地域パートナーシップ事業)の対象であることから、本補助制度を活用し、本町独自の各種事業を継続的に実施。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども人権学習支援事業 →中止																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>奈良学園大学と学び隊</td> <td>三郷中学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>プログラミング、キャリア講座等</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>親子で遊び隊</td> <td>三郷小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>手話コーラス</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>軽スポーツ、天体観測、ものづくり等</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の拡大により、集団感染を引き起こしかねない各種活動については、児童生徒の安全確保の観点から、令和2年度の活動は中止とした。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	0人	0回	和太鼓の演奏	生涯学習課	奈良学園大学と学び隊	三郷中学校	0人	0回	プログラミング、キャリア講座等	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	0人	0回	ゲートボール体験	教育総務課	ふれあいクラブ	三郷小学校	0人	0回	和太鼓の演奏	教育総務課	親子で遊び隊	三郷小学校	0人	0回	デイキャンプ	教育総務課	にこやかクラブ	三郷北小学校	0人	0回	手話コーラス	教育総務課	つながり学級	三郷北小学校	0人	0回	軽スポーツ、天体観測、ものづくり等	生涯学習課
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																											
	どんどん和太鼓	三郷中学校	0人	0回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																											
奈良学園大学と学び隊	三郷中学校	0人	0回	プログラミング、キャリア講座等	教育総務課																																												
多聞クラブ	三郷小学校	0人	0回	ゲートボール体験	教育総務課																																												
ふれあいクラブ	三郷小学校	0人	0回	和太鼓の演奏	教育総務課																																												
親子で遊び隊	三郷小学校	0人	0回	デイキャンプ	教育総務課																																												
にこやかクラブ	三郷北小学校	0人	0回	手話コーラス	教育総務課																																												
つながり学級	三郷北小学校	0人	0回	軽スポーツ、天体観測、ものづくり等	生涯学習課																																												
◎学校支援地域本部事業 〈主な活動実績〉																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>緑化推進活動、花壇整備、菊栽培、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車(多聞号)清掃、卒業式での汽笛鳴らし、卓球クラブ補助など</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、レンゲ栽培、交通安全教室補助、防災訓練補助、校区探検、生き物探検、観音池清掃、収穫体験補助(すもも、ブルーベリー、ピワ)、甲虫の幼虫飼育など</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>家庭科実習(被服)支援、図書支援など</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止のため、ボランティア活動については縮小実施とし、屋外での活動を中心とした。 また、令和4年度より導入するコミュニティ・スクール制度(学校運営協議会制度)について、ボランティアコーディネーターと複数回にわたり打合せを重ね、制度導入に向けた準備を行った。</p> <p>〈学校支援ボランティア登録人数〉 計：268人(前年度比15人増)</p>	学校名	活動内容	三郷小学校	緑化推進活動、花壇整備、菊栽培、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車(多聞号)清掃、卒業式での汽笛鳴らし、卓球クラブ補助など	三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、レンゲ栽培、交通安全教室補助、防災訓練補助、校区探検、生き物探検、観音池清掃、収穫体験補助(すもも、ブルーベリー、ピワ)、甲虫の幼虫飼育など	三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援など																																									
学校名	活動内容																																																
三郷小学校	緑化推進活動、花壇整備、菊栽培、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車(多聞号)清掃、卒業式での汽笛鳴らし、卓球クラブ補助など																																																
三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、レンゲ栽培、交通安全教室補助、防災訓練補助、校区探検、生き物探検、観音池清掃、収穫体験補助(すもも、ブルーベリー、ピワ)、甲虫の幼虫飼育など																																																
三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援など																																																
◎学習支援塾 〈主な活動実績〉																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>41</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>登録生徒数</td> <td>21</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開催回数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、1月から3月の開催が見送られたため、開催回数は昨年度に比べ大きく減少した。</p> <p>※登録生徒数は、前年度に比べると増加していることから、学習意欲の高い学年であった。このことから、引き続き学習支援塾は継続したい。</p>		令和2年度	令和3年度	開催回数	41	31	登録生徒数	21	51																																								
	令和2年度	令和3年度																																															
開催回数	41	31																																															
登録生徒数	21	51																																															

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。
	◎子ども人権学習支援事業 ・地域の方や各種団体の指導の下、世代間の交流を図り、子ども達が日頃経験できない様々な活動を通して仲間とともに協力することの大切さや目標を達成する喜びを学ぶことのできる事業であるが、令和2年度に引き続き本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、児童生徒の安全確保のため、やむなく全ての活動を中止とした。【成果指標①】
	◎学校支援地域本部事業 ・ボランティアの新規登録者数は、例年、学生登録者の学校卒業に伴う脱退等により新規登録数と脱退数が相殺されるが、着実に登録者数は増加しており、令和3年度は前年度比15名の増となった。 ・コロナ禍におけるボランティア活動については、令和2年度の経験を活かしながら、それぞれの活動に工夫し子どもたちの学びや気づきに繋がるようボランティアの皆さんが、アイデアを結集してくださった。また、令和4年度より本格導入を予定しているコミュニティ・スクール制度(学校運営協議会制度)について、導入後のボランティアの役割や活動内容等、複数回にわたり打合せを重ねた。【成果指標②】
	◎学習支援塾 ・年度当初は感染症の影響もなく十分な準備期間を確保できたことで、参加者募集に係る周知活動ができたため、昨年度に比べ登録生徒の増加に繋がった。しかしながら、年度末(1~3月)にコロナウイルス感染者が中学校で増加したことに伴い、やむなく年度末の開催を中止する運びとなった。【成果指標③】

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①子ども人権学習支援事業	参加人数(延べ人数)	人	0	0	R2 0 R3 0
②学校支援地域本部事業	ボランティア登録人数	人	253	268	R2 743,923	
	ボランティア参加人数(各学校計・延べ人数)	人	3,087	4,221	R3 700,387	
③学習支援塾	参加人数(延べ人数)	人	356	983	R2 537,724	
					R3 401,445	

③事業の課題	【継続的な課題】 ①コミュニティ・スクールを視野に入れた『子ども人権学習支援事業』・『学校支援地域本部事業』両事業の連携と運営 ②『学習支援塾』において地域人材であるボランティア講師が現在1名であることから、更なる地域人材の掘り起こしが必要である。
	【新たな課題】 ①令和4年度のコミュニティ・スクール導入後の学校運営における将来像を学校・地域・保護者・教育委員会が共通の目標を持ち、それぞれが活躍できる範囲や協働できる範囲を逐一検討する必要がある。 ②中学校の部活動を地域移行する指針が示される中、各種組織との調整や指導者となる地域人材の確保。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①コミュニティ・スクールを運営するにあたり、準備期間となる令和3年度にコミュニティ・スクールの導入に係る周知を行い、人材確保及び各地域(各校区)との更なる連携強化を呼びかけることで、コミュニティ・スクールの円滑導入を図った。 ②令和3年度の途中で学習支援塾のボランティア講師が諸事情により退任されたことにより、地域人材が0名となった。学習支援塾のボランティア講師には教科指導だけでなく、生徒が抱く進路選択への不安や友人関係等の子どもたちの悩みに寄り添える人材が求められるため、新たな人材募集はもちろんのこと、今後続く人材育成も視野に入れ、途切れることのない人材確保の長期的な計画を検討する。
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ①学校運営に携わる全ての人材がコミュニティ・スクールについての理解を深めるよう学校や教育委員会を中心となり、コミュニティ・スクール制度の周知を広報誌やSNSも活用し情報発信及び提供に努める。 ②埋もれている地域人材の発掘には、地域コミュニティの繋がりからの人材紹介も有効な手段の一つであるため、各種団体や地域との繋がり強化に努め、協力を求めていく。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
令和4年度からコミュニティ・スクールを導入するにあたり、地域・保護者・学校・行政の連携を強化し、学校運営に係る協働の重要性をについて理解を求めると共に、「地域で子どもたちを守り、育てる」雰囲気醸成に努め、コミュニティ・スクールの基盤となる学校運営協議会の活性化を図る。		

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	教育大綱	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見守り活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信先を拡充し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全確保を目指し、不審者情報、下校時刻の変更並びに学校及び放課後児童クラブの休校休所情報等を登録者にメール配信により情報提供する。 ○さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> 学校、PTA及び地域の連携により、自治会等を中心とした住民ボランティアの方々にご協力いただき、登下校時の通学路で見守りを行う。 ボランティアの見守りに併せ、通学路上における重要危険個所に安全巡視員を配置(シルバー人材センター委託)することで、地域による見守りの必要性を啓発し、より多くの大人の目で児童生徒を見守り、登下校時の安全確保に努める。 ○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の下校時にあわせて、町内を巡視する青色防犯パトロールを実施する。 ○防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> 警察の協力により、小学校及び幼稚園において、防犯・交通安全教室を開催する。 ○子ども110番の家(住環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> 子どもが身の危険を感じたとき、また、被害に遭ったとき、子どもを保護し関係機関へ連絡するなどの子どもの安全確保はもとより、「子ども110番の家」の旗を掲げることで犯罪の抑制効果も期待できる。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども情報ネット配信状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>配信件数</th> <th>うち町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 	不審者内容	配信件数	うち町内件数	声掛け	1	0	つきまとい	0	0	露出	2	1	痴漢	2	0	盗撮	0	0	傷害・犯罪	1	0	不審電話	0	0	その他	1	1	合計	7	2	<p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を登録者へメール配信する。 <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童や生徒の保護者、各種団体・関係機関の関係者など計1,200人。(令和4年3月末現在)
	不審者内容	配信件数	うち町内件数																													
声掛け	1	0																														
つきまとい	0	0																														
露出	2	1																														
痴漢	2	0																														
盗撮	0	0																														
傷害・犯罪	1	0																														
不審電話	0	0																														
その他	1	1																														
合計	7	2																														
<ul style="list-style-type: none"> ○さんごう子ども見まもり隊 <p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会等</td> <td>13</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>15</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>—</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>568</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記一覧には含まれない未登録の協力者も多い。</p> ○安全巡視員の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 通学路上における重要危険個所を中心に安全確保のため、安全巡視員(シルバー人材センター)を派遣し、登下校時における交通指導及び見守りを実施。 <ol style="list-style-type: none"> ①三郷小学校区：6人(1日あたり) ②三郷北小学校区：5人(1日あたり) ○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時にあわせて、役場全課の職員が交代制により町内を巡回する青色防犯パトロールを実施。 <ol style="list-style-type: none"> ①三郷小学校校区：年間42回 ②三郷北小学校校区：年間42回 ○防犯教室など <ul style="list-style-type: none"> 各学校・幼稚園で防犯教室を開催。 新小学校1年生を対象に警察より防犯ブザー、防犯交通安全対策協議会よりランドセルカバーを配布。 ○子ども110番の家 <ul style="list-style-type: none"> 登録世帯数：479世帯(自治会、学校関係、各種団体など) ○防犯カメラの設置 <ul style="list-style-type: none"> 町内「のどか村」に町補助金を活用し設置。(1箇所) 	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会等	13	191	学校関係	7	115	各種団体	15	171	町議会	1	13	教育委員会	1	5	個人	—	73	合計	37	568	<p>【子どもの安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携及び情報交換を図る場として子どもの安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議で実施。 <p>【通学路合同点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校より報告のあった通学路上の危険個所について、町関係各課、警察署及び県土木事務所立会いの下、合同点検を実施し、危険個所の共有及び対策について検討。 							
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																														
自治会等	13	191																														
学校関係	7	115																														
各種団体	15	171																														
町議会	1	13																														
教育委員会	1	5																														
個人	—	73																														
合計	37	568																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町全体で子どもの安全対策に取り組んできた結果、令和3年度においても子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害はない。また、不審者情報件数も総体的に減少しており、同様に町内における件数も減少傾向にある。これは、地域住民や子ども達の危機意識の向上が犯罪被害の抑止につながっているものと考えられ、「子ども情報ネットさんごう」受信登録者数も前年度比43人の増で、登録者数の増加からも町内における防犯意識の浸透が窺える。しかしながら、依然、不審者の出没はなくなり、児童生徒が犯罪の被害にあうことが懸念されるため、引き続き学校・地域・教育委員会の連携及び協力による防犯意識の徹底は不可欠である。【成果指標①】 「子ども見まもり隊」の登録人数については、新規で24名の登録があった。しかしながら、見守り活動協力者の多くは高齢であり健康状態等の理由から、登録のまま活動を休止している人も多く、登録者数と実働者数の実態把握に努める必要がある。【成果指標②】 未だなくならない道路交通法違反などの危険運転から、登下校中の児童生徒を守るため、町内通学路危険箇所について、警察署、県土木事務所及び本町関係各課の協力のもと、通学路の合同点検を実施し各種対策を講じた。また、令和3年度に千葉県で飲酒運転のトラックが下校中の児童に衝突する痛ましい事故が発生したことを受け、下校時の青色防犯パトロールの回数を増加させ、地域の子どものは地域で守ることをモットーに、これまで以上に警戒を強めた。【成果指標③】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
②成果指標	①子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	1,157	1,200	R2 66,000 R3 66,000
	②子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数(累積人数)	人	558	582	R2 0 R3 0
	③巡視委託	巡視回数(小学校年間合計・延べ回数)	回	1,830	1,982	R2 2,550,715 R3 2,903,056
	④青色防犯パトロール	パトロール回数	回	24	84	R2 0 R3 0

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①通学路危険箇所への対策のための予算確保及び関係機関への協力依頼が必要となる。 ②地域住民の協力による見守り活動は、本町においても大きな効果が見られるが、子どもたちに対しても防犯と交通安全に対する意識づけを図ることが必要である。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①見守り隊の多くが高齢となっており健康状態等の理由から活動を休止している方も多く、今後の世代交代を見越し、若い世代の協力者を増やす必要がある。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①逐次、町内道路担当課及び環境整備担当課と情報共有し、国・県の関係機関や県警察への協力または対応を依頼。 ②警察や地域住民と協力しながら、交通安全教室や防犯教室等の取組を継続し、登下校時の子どもたちに声掛けやあいさつを通して意識づけを行っていく。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①多くの方が見守り隊の存在は知っているものの、見守り活動における活動内容の実態が把握できず、協力を躊躇する方も一定数おられることが考えられるため、今後は、広報誌やSNSで活動写真等を掲載し、わかりやすく活動内容を周知することで、「気軽に」「少しの時間でも」参加できる活動であることを理解してもらい参加を呼び掛ける。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>安全・安心の学校づくりには、地域住民の協力が欠かせないことから、今後も地域と町行政及び関係機関との連携の更なる強化の必要がある。令和4年度からのコミュニティ・スクールの導入を契機に、協力団体及び各地域における見守り活動の組織化を図り、組織としての活動母体を築くと共に、各校の学校運営協議会においても各々の校区における通学路等の安全確保について協議を行っていく必要がある。今後も地域住民に対する協力の呼びかけを続け、地域全体で更なる危機感と防犯意識の向上を図り、継続的に通学路上等の危険箇所の把握及び改善等の対策を進める。</p>

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校給食衛生管理基準」に基づき、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心な学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理及び職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する。 ・安全安心でおいしい給食を提供するため、献立作成にあたっては、児童生徒の個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用することを定めた「学校給食採取基準」に基づき、常に食品の組み合わせや調理方法の改善を図るとともに、魅力あるおいしい給食となるよう努める。 ・栄養管理職員の資質向上を図るため、調理員研修会等に積極的に参加する。 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、「食」の指導の充実を図る。 ・農業委員会の指導及び協力を得て、食育の面も含めて「教育ファーム実践事業」を推進するとともに、信貴山のどか村やCAP35の協力も得て、町内産の食材を使用することにより地産地消の推進を図る。 ○給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの調理・配送等業務については業者に委託し、きめ細かな食物アレルギー対応等、安全安心な給食の提供に努める。 ・給食の栄養価や質の向上を維持していくため、給食費の適正化を図る。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心の学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園及び小学校における保護者を対象とした給食試食会については、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ・安全・安心な学校給食を提供するため、可能な限り国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村及びCAP35の旬の野菜を積極的に使用した。 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校において作成した「食に関する指導」の全体計画をもとに実践。 ・生活科・家庭科や総合的な学習の時間における「食に関する指導」や給食に関わる指導を実施。 <div style="margin-left: 20px;">【内容】</div> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科等授業時間数： 18時間 ② 給食指導時間数： 2時間 ③ 個別指導その他： 29時間 <ul style="list-style-type: none"> ・「食育推進事業」として、給食センター2階研修室において住民を対象に年間12回のクッキング教室を実施。また、学校給食を身近に感じていただくことを目的に、住民給食試食会を年間述べ15日間実施した結果、154人の参加者を集客することができた。 ・「教育ファーム実践事業」については、農業委員会の指導及び協力を得て、食育及び地産地消推進の観点から、体験授業として各小学校児童がタマネギを本年度の5月に収穫した。また、11月には次年度の収穫に向け、各小学校児童がタマネギの作付けを行った。 ・食材の有効活用を図るため、地元で採れた野菜等をかき揚げやコロッケ等の加工食品にし、給食に提供した。 ○給食費の滞納状況 <ul style="list-style-type: none"> ・徴収業務として、文書による督促をはじめ、電話・家庭訪問による交渉を行い、滞納の解消に努めた結果、滞納繰越分の2件の滞納を解消し、現年度分の収納率を100%とした。 <div style="margin-left: 20px;">【令和3年度末滞納状況】</div> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>令和3年度末現在の滞納額</td> <td style="text-align: right;">81,800円 (4件)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><内訳></td> </tr> <tr> <td colspan="2">①滞納繰越分</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">令和2年度末滞納額</td> <td style="text-align: right;">149,000円 (6件)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;"><u>収納額</u></td> <td style="text-align: right;"><u>67,200円 (2件)</u></td> </tr> <tr> <td>令和3年度末滞納額</td> <td style="text-align: right;">81,800円 (4件)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②現年度分</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">令和3年度末滞納額</td> <td style="text-align: right;">0円 (0件)</td> </tr> </table> ○給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターにおける調理・配送等業務は、公募型プロポーザル方式(企画提案方式)により業者選定し、現在、株式会社東洋食品に5ヵ年契約(平成30年8月1日から令和5年7月31日)で委託している。 ・食物アレルギー対応として、卵(鶏卵・うずら卵)・乳製品・エビ・カニのアレルギーについては、除去食により対応。また、卵・乳製品を含むデザートに対しては代替食により対応。なお、牛乳の除去・代替(緑茶・豆乳)については、保護者の意向に沿ってきめ細かに対応している。 	令和3年度末現在の滞納額	81,800円 (4件)	<内訳>		①滞納繰越分		令和2年度末滞納額	149,000円 (6件)	<u>収納額</u>	<u>67,200円 (2件)</u>	令和3年度末滞納額	81,800円 (4件)	②現年度分		令和3年度末滞納額	0円 (0件)
令和3年度末現在の滞納額	81,800円 (4件)																
<内訳>																	
①滞納繰越分																	
令和2年度末滞納額	149,000円 (6件)																
<u>収納額</u>	<u>67,200円 (2件)</u>																
令和3年度末滞納額	81,800円 (4件)																
②現年度分																	
令和3年度末滞納額	0円 (0件)																

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や小学校での保護者を対象とした給食試食会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することとなったが、食育指導では、総体的な事業を通じて新1年生の給食センターの施設探検を開催するなど、給食に対する関心を深めることができた。【成果指票①②】 ・給食費の徴収については、未納が始まる早期の時点で適正な滞納整理を行うことが重要であり、令和3年度の給食費はすべて納付された。また、保護者の経済的理由により納付困難なケース等の過年度分に係る滞納整理については、個別事情を考慮のうえ、再三に渡り保護者と協議及び支払期限毎の電話による確認や家庭訪問による交渉等を実施した結果、滞納額は前年度比67,200円の減となった。【成果指標③】 ・調理配送等業務を民間委託にしたことにより、高度な衛生管理の実現及び安全安心な給食の提供及び調理員の資質向上を図ることができている。食物アレルギー対応については、保護者・学校・給食センターと互いに連携を密にして対象児童生徒にきめ細かな対応を行っており、安全安心な学校給食の提供が図れている。 ・食育・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を提供できた。農業委員会や信貴山のどか村、CAP35の協力により、徐々に町内食材地産地消率の向上に繋がっている。【成果指標④】 ・住民を対象に実施する食育推進事業「食育クッキング教室」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの教室を中止することとなったが、献立内容や園児を対象としたクッキング教室を開催するなど、対象年齢層を広くしたことにより多くの参加者を集客することができ、更なる食育の推進に繋がった。【成果指標⑥】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①給食試食会 (幼稚園・小学校)	参加人数	人	0	0	R 2 R 3
②食育指導	延べクラス数	クラス	11	37	R 2 R 3	
③給食費の滞納整理	滞納者数 (年度末)	人	6	4	R 2 149,000(滞納額) R 3 81,800(滞納額)	
④食育・地産地消の推進	町内食材地産地消率	%	3.40	3.04	R 2 R 3	
⑤食育推進事業 (食育クッキング教室)	開催回数	回	25	27	R 2 R 3	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 給食費の徴収については、滞納が始まる早い時点での適正な徴収が必要である。 ② 令和3年度の食育事業も前年と同じ参加者が大半を占めていたことから、新規の参加者を確保するための幅広いPR方法等、工夫が必要である。 ③ 新型コロナウイルス感染症対策を講じる状況下での「食に関わるイベント」の開催方法。 <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 給食費の滞納整理については、今後も継続的に学校と連携して定期的に保護者と交渉し、未納の解消に努める。 ② 食育事業については、ひとりでも多くの方に事業を認知いただけるよう各学校・園の給食試食会等でもPRするなど、多角的にアプローチしながら、魅力ある食育クッキング教室を企画・開催する。 ③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、クッキング教室などのイベントについては、参加者同士の会食を伴うため、感染状況に応じ、実施方法に慎重な判断が求められる。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も農業委員会等の各団体の協力や更なる連携強化を図り、地産地消の積極的な推進及び安全安心な学校給食の提供に努める。 ・今後も農業委員会の指導及び協力を得ながら教育ファーム実践事業を推進し、タマネギの作付・収穫など、子ども達自身の体験を通じて、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の気持ちや理解を深める活動を展開する。また、食育はもとより地産地消の重要性などに鑑み、積極的な事業展開を実施する。 ・学校給食において、園児・児童・生徒に安心安全な給食を提供するため、異物混入の防止対策や混入した場合の取扱いについて、「異物混入対応マニュアル」を作成する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰による学校給食の実施への影響を鑑み、安心安全でバランスがとれ、多様な食品を適切に組み合わせたおいしい給食を園児・児童・生徒に提供していくため、給食費の適正化を検討する。 ・給食費の滞納については、学校との連携強化をさらに図り、滞納額の解消に努め、今後も引き続き『滞納ゼロ』を目指して滞納整理に努める。また、併せて「三郷町学校給食費の不納欠損処分要綱」の規定に基づき、必要に応じて不納欠損処分の手続きを行い、適正な滞納整理を実施する。 ・フェイスブックやインスタグラムをはじめ、カレンダーアプリ「ジョルテ」を活用し、学校給食の献立の掲載等、SNSを活用した情報の提供を継続して行う。 ・住民を対象とした「食育クッキング教室」や「給食試食会」の開催を通じ、食育事業を引き続き推進する。

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	こども未来課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に基づき、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性や主体性を育み、生きる力の基礎を培う環境づくりに努める。 ・幼児一人ひとりの特性に応じた発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育むべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで、円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指し、幼稚園の機能を活かして預かり保育や教育相談を行い、子育て支援に努める。 ・研究テーマ「夢中で遊ぶ子どもをめざして」に向かい、保育内容の充実を図る。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園教育 <ul style="list-style-type: none"> ・園長通信やクラス通信を通して、子どもたちの姿や言葉を掲示したり、参観などを通して幼児期に実用な経験や育てたいことなどを伝え幼児教育に対して理解を深めた。 ○特別支援教育 <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする園児の教育支援計画及び個別指導計画を作成し、保護者や関係機関との連携に努めた。また、職員のスキルアップや幼児理解を深めることを目的として、巡回アドバイザーによる園内研修を実施した。 町の巡回相談…8回 ○子育て支援及び一時預かり保育 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てや保育に不安を感じる保護者の思いを受け止め共有することにより、保護者がポジティブに子育てができるように教育相談を行った。 ・次年度入園予定の未就園児を対象として6月に見学会を3回に分けて行った。また、11月に入園前の健康診断を行い短い時間ではあったが入園に向けての不安や疑問に答えることができた。3月には未就園児に対してプレ保育を予定していたが、コロナ禍の影響もあり、中止となった。 ・家族の通院や介護、兄や姉の授業参観等のほか、保護者の就労時間や各家庭の諸事情により、緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育の必要が生じた場合に、できる限り対応し、一時預かり保育を行った。 ○環境づくりへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・毎月季節を感じられる壁面構成を考えたり、各クラスの子どもの姿や遊びの流れを出し合い、園内の環境構成を考えた。(月1回程度の実施) ・月案、週案を立てる中で先を見通した環境構成を考えた。また、日案を活用し、保育終了後に幼児の姿を振り返り、明日に向けて環境の再構成を行うことに努めた。 ○保育内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達過程をふまえながら、時期や季節を逃さないよう、5領域の活動を偏ることなく経験できるように計画を立てた。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい1.0の姿」を心にとめて幼児の姿を分析した。 ・園外の環境に目を向け、園外に出かけて豊かな自然や建造物に触れ美しさや不思議さ、偉大さを感じることもできるよう努めた。 ○ALTとの交流(年間8回) <ul style="list-style-type: none"> ・年中～年長児が歌や遊びなどを通じて外国語や異文化に触れ、コミュニケーションの楽しさを感じることができきる「ALTとの交流」を実施。(年中3回・年長5回)
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の啓発については、その日の子どもたちの様子をタイムリーに伝えるためにもパスにもポスターを掲示するようにした。写真を添えたポスター掲示により、具体的な保育内容がわかり、いろいろな経験をしていることを理解していただけたが、2年も続くコロナ禍では、いろいろな場面で制限もまだまだあるため、もっと子どもたちの様子を知りたかったとの声もあった。 ・特別支援教育においては、こども未来課の事業である「ひまわり教室」「巡回相談」が3年目を迎え、保護者や教員にも活用の仕方が定着してきたことで、発達に課題をもつ幼児について、早い時期に懇談の機会を設け、発達を助長することができた。また、巡回相談によって、教員が一人ひとりの幼児に応じたより多くの支援方法を学ぶとともに、体幹を作るために発達年齢に沿った保育内容を学ぶことができた。 ・一時預かり保育については、母親の就労や通院のための付き添いや介護などを理由とした利用が多かった。また、コロナ禍での生活であったため、これまで利用が多かった小学校、中学校の参観・懇談を理由とした利用は少なかった。 ・未就園児のいる家庭に、在園児が遊ぶ姿を見てもらったり、教員と一緒に遊んだりする体験入園の機会を予定していたが、開催することはできなかった。また、幼稚園見学会、入園説明会、新入園児健康診断では少しはあるが、子育ての悩みや入園にあたっての保護者の思いを向うことができた。 ・保育内容の充実については、職員同士が活発に意見やアイデアを出し合い、互いに刺激を受けあいながら取り組めた。 ・環境づくりへの取り組みは、長期・短期的に考える習慣、日々の保育を振り返り、反省を活かして環境を再構築していく習慣を身につけることで、流れのある環境構成をすることにつながった。また、園外にも目を向けることができ、園周辺の豊かな自然環境に五感を通して存分に触れることができた。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度
①預かり保育		実施回数	回	31	80

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育相談や保育内容の理解、また、家庭教育啓発のために保護者と連携できる関係性を築く。 ②「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」について保育園とも情報を共有しつつ、就学前教育の充実に向けた保幼小の連携体制づくり。 ③教育課程に基づいた組織的・計画的な教育活動の質の向上。 ④幼児理解を深めるための保育記録の活用。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①電話連絡・個別の面談・家庭訪問などで、教員が保護者との積極的なコミュニケーションに努めるとともに保護者の願いや子育ての悩みに寄り添い、向き合ってきた。その結果、相談を受ける保護者との信頼関係は深まりつつあるが、多くの保護者の声を聞き取るところまではいかなかった。また、保護者が来園することも殆どなかったため、コミュニケーションをとる機会が少なく保護者との信頼関係を築くことが難しいと感じた。保育内容の理解については、園長通信、クラス便りを通して幼稚園でどのような活動をしているのかは知っていたが、教育的な意味までは深く伝えきれなかったのではないかと感じる。今後は、伝える方法を考えていきたい。 ②今年度は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の力」について研修を深めることができたが、コロナ禍で保幼小連携については、連携が不十分だった。今後は現状の感染状況の中でもお互いの教育活動について理解をいえるよう工夫を凝らさなければならないと感じる。 ③年度初めに教育課程の共通理解をし、年間計画の見直しを行ったり、保育内容についてより分かりやすく細かく計画を立てたりしたので、日々の保育に活かしやすくなったが、計画倒れになった内容もあったので、今後は長期的・短期的に見通した計画を立て実践につなげたい。 ④今年度は、未就園児を対象としたプレ保育を計画していたが全く行うことができなかった。コロナ禍の生活が続くようであれば、少しでも幼稚園を感じてもらえるよう、感染対策、日程なども考えて実施できるよう考えていきたい。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次年度入園する未就園児を対象とした親子登園（プレ保育）を実施する。入園前からの保護者・幼児との信頼関係の構築、保護者同士の交流の場づくりに努めることで、幼稚園生活への円滑な接続を図る。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上・教育方向上のために、幼稚園教育の基本である「環境による教育」を教員で切磋琢磨しながら考えていきたい。そして、教育の場である幼稚園を保護者に情報発信していく。 ・計画的な研修の時間を確保していく。また、日々の保育中で気づいたことや感じたことを言い合える職員関係を構築する。 ・教育相談を積極的に行い、内容を職員間で情報共有しながら、関係機関との連携を含めてその子に応じた対応を考えていく。

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑪生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制度の構築を図ります。 各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができるよう、多様な分野での学習活動の場を提供する。 ○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> 事業実施に伴い、活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 ○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> 自主的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き、住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○学習基盤の整備 社会情勢や住民ニーズを取り入れ、時代に沿った学習内容とする。						
	○各種学級の運営状況						
	学級名	目的	事業内容	R2年度		R3年度	
				学級生数	開催回数	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	子ども達が元気に生き生きと成長するために大切な「家庭での教育」に重点を置き、保護者を対象にさまざまな講義や体験学習などを実施し、家庭での教育の向上やスキルアップを図る。	・教養講座	34人	0回	37人	3回
	長寿学級	熟年者として、時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を探求し、自主的・意欲的な学習活動を通じて、生き甲斐を感じる。	・健康体操 ・音楽鑑賞 ・講演等	71人	5回	67人	4回
	くれない学級	教養を高め、自主的・意欲的な学習活動を行い、女性としての生き甲斐を高める。	・教養講座 ・健康体操 ・創作学習 ・音楽鑑賞等	66人	5回	73人	4回
歴史教養講座	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	・講義	58人	8回	51人	3回	
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ、知識を深めるとともに町の歴史と文化について関心をもち、心豊かにする。	・講義	71人	7回	75人	5回	
<p>※5学級合同学習会：7月「人権学習会」及び10月「教育講演会」、2月「健康福祉学習会」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため家庭教育学級のみ中止。</p>							

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習学級として「家庭教育学級」「長寿学級」「くれない学級」「歴史教養講座」「みさと万葉学習会」の5学級は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、前年度に引き続き一部中止したものの、感染防止対策を講じながら可能な限り開催した。また、登録者数は、延べ303名で、前年度より3名の増加となり、新型コロナウイルスの影響を受けたものの、概ね昨年度に近い登録者数を確保できた。今後は、コロナと共存して行く時代に合った学習内容の更なる質向上を目指し、町の施策や町内で活動する他の団体と連携を強化し、より身近に活かせる学習内容を模索していく。【成果指標①】 各学級の現地学習で使用するバスの賃借料については、町が一部を負担することにより、学級生の負担軽減を図ったが、コロナの終息がみられないことから前年に引き続き現地学習を中止したため、前年度に比して支出額が更に減額となった。【成果指標①】 各学級の運営は、それぞれの運営委員会により事業内容等を検討し、学級の自主的な運営を促した。 学習内容については、引き続き学級生から希望の聞き取りを行い、反映させるよう努めた。 <p>○地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級の講師には、町の文化教室や各施設のボランティア団体等を活用するなど、地域人材の活用を図り、地域の活性化を図るとともに、内容のバリエーションを広げるために町外の講師の招聘や奈良県登録の講師及び他機関の人材も活用し、内容の充実に努めた。
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
②成果指標	①生涯学習学級	登録者数	人	300	303	R 2 577,199
						R 3 381,270

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の各学級は、受講者には人気があることから例年同内容で継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確に捉えながら内容の刷新を図ることが必要である。 ②各学級生の高齢化や学級の地区役員が担当するエリアの広さから、役員にこれまでと同様の役割や負担を求めることが難しくなっている。 ③全ての学級において、多くの講義や現地学習が新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となっており、次年度以降においても講義の開催の可否、開催場所、開催方法などに大きな影響が出ることが予測される。流動的な状況に適応すべく、事前に学習方法を模索していく必要がある。 <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学級の学習内容については、学級生の自主運営を促し、そのニーズを反映させていくと共に、様々なジャンルの講師の活用を図り、柔軟に学習テーマを変化させることが必須であるが、感染拡大状況にむらがあり、ウイズコロナの時代への過渡期である今、その模索に努める。 ②引き続き極端な負担の偏りのないよう事務局も協力しながら、「学級生による自主運営」を促しつつ、幅広い世代の学級生の入級を促進する。 ③新型コロナウイルス感染症対策を引き続き実施しつつ、オンライン講座など新しい形の学習体制を検討していく。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
		<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に学習できる学級運営を引き続き行う。 ・講師やボランティア等、地域の人材や歴史、産業などの資源を掘り起こし、活用する。 ・社会の変化に合った学習内容とし、生涯教育の更なる充実を図る。 ・各学級運営に工夫を凝らし、学級生の増加と幅広い世代の学級生の入級を促進する。

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑫青少年の育成	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・児童・生徒の育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<p>○青少年育成三郷町民会議 青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体の緊密な協力により、広く町民の総意を結集し、次代を担う青少年の育成を図る。</p> <p>①ふれあいのつどい ・家族・地域社会等のふれあいを築くことを目的に開催する。</p> <p>②教育講演会 ・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。</p> <p>③問題行動等防止 ・巡回指導の実施及び関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。</p> <p>○成人式 新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。多くの新成人に参加してもらえるように努める。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○青少年育成三郷町民会議</p> <p>①指導推進部会 幼保小中高の子どもたちの様子や長期休業期間の生活の様子などについて学期毎に意見交換を行い、情報を共有し、各学校園において児童生徒等の指導に当たった。また、情報を共有することにより、学校のみならず、町全体の問題として地域の理解を深め、学校、保護者、地域、関係機関等の連携強化を図った。</p> <p>②調査研究部会 町民会議委員を対象に「学校と地域の新たな協働体制づくり」というテーマで研修会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。</p> <p>③啓発促進部会 町民会議の各種事業に係るポスターの作成や広報、また「子ども・若者支援強調月間」のポスター募集等の啓発活動を展開した。</p> <p>④地域活動部会 「ふれあいのつどい」開催に係る内容・役割分担等、関係機関と協議及び連携し、事業開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>⑤関係機関との連携 「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人推連絡会」と連携を図り、幼児・児童・生徒が置かれている現状を共通認識し、青少年の育成を図った。</p> <p>○問題行動等防止 ・巡回補導（生駒郡4町合同（生駒郡青少年指導連絡協議会）で実施） 実施日：令和3年8月25日（水）</p> <p>・巡視活動 学校の長期休業期間に公用車による町内巡視（12回）を実施。 ※例年、関係機関の協力のもと行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、警察官同行により教育委員会事務局職員で実施。 （巡視時間 20時～21時） 実施日：夏休み期間 7月29日（木） 8月3日（火）5日（木）10日（火）17日（火）19日（木）24日（火）26日（木） 春休み期間 3月24日（木）25日（金）28日（月）29日（火）</p> <p>○成人式 期日：令和4年1月9日（日） 場所：スポーツセンター及び文化センター 参加人数：171人 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、式典及び撮影会場の変更や式典の短縮をして開催した。</p>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>○青少年育成三郷町民会議 ・新型コロナウイルスの影響で計画していた事業の中止もあったが、児童・生徒の問題行動について、突発的な事案に対し、定例会連絡会議や町行政と教員・家庭・地域の間で緊急協議を逐次実施。青少年の真の問題点の把握・分析を行い、各関係機関と密接な連携を図ることにより、各部会の活動を実施し、青少年の育成を図った。</p> <p>○ふれあいのつどい・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【成果指標①】</p> <p>○教育講演会・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【成果指標②】</p> <p>○問題行動等防止巡視 ・警察官同行のもと教育委員会事務局職員により12回の夜間巡視活動を縮小して実施。問題行動事例は特に報告もなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、屋外での問題行動だけでなく、インターネットを介した問題行動等にも注視する必要がある。引き続き西和警察署と連携し、巡視を継続していく。【成果指標③】</p> <p>○成人式 ・対象者232人のうち参加者が171人で、参加率は前年度66.4%から本年度は73.7%と7.3ポイント増加した。新型コロナウイルス感染症のクラスター等が発生することもなく、式典を無事に開催することができた。今後も引き続き7割以上の参加率の目標にしながら、参加者の安全を最優先とした開催に努める。【成果指標④】</p> <p>※青少年の育成については、年々、家庭・学校・地域・行政の協働と連携の強化は図られている。今後も問題行動等の早期発見、的確な助言及び指導を通じて、問題行動等の未然防止や問題解決に努める。</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)	
	①ふれあいのつどい	参加人数	人	0	0	R 2	60,861
②教育講演会	参加人数	人	0	0			
③問題行動等防止巡視	巡視回数	回	13	12	R 3	64,734	
④成人式	参加率	%	66.4	73.7	R 2	485,507	
					R 3	579,818	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①成人式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止にする判断が難しく、オンライン開催よりも現地開催を希望する声も多いため、開催の是非は慎重な判断を要する。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の今後の拡大状況に対応するため、対策に必要な会場やスタッフや備品の確保を始め、状況に応じた事前準備と協議を事前に行い、担当課以外の協力を仰ぎながら、より安全に開催できる方法を検討する。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・青少年の育成には地域の協力が必要不可欠であることから、今後も関係機関等と連携を密に図り、協力を求めながら取り組む。</p> <p>・成人式については、令和4年度以降の対象年齢の見直しに伴い、「成人」に替わる新しい「20歳」のカテゴリーを作り、式典を開催する。</p>		

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 行政、関係機関・団体等の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> 教育を受ける権利を保障されなかった方に、文字などを学習する機会を提供する。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> 暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な課題として捉え、人権確立を図る。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> 人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> 人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(当初予定:毎週月・木曜日の午後2時～) 登録者数: 3人 学習内容: 文字の練習、数字の計算、ローマ字練習、習字等 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> 今年度は「男女共同参画の実現について」をテーマに取り上げ、7月より連合自治会長と日程調整等を行ったが、新型コロナウイルス感染者数の増加により実施が厳しい状況となり、中止をせざるを得なくなったため、各自治会へは懇談会用資料を作成し送付した。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> 3回の講演会及び2回の現地学習を下記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 <ul style="list-style-type: none"> 【講演】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日: 令和3年7月13日(火) 講師: 上牧町立上牧小学校 校長 芝崎 照弘氏 演題: 「共に生きることのあたたかさ」 (2回目) 期日: 令和3年8月24日(火) 講師: 大阪府立西成高等学校 校長 山田 勝治氏 演題: 「子どもの貧困に向き合う学校 西成高校の挑戦」 (3回目) 期日: 令和3年9月18日(土) 講師: かぎひろ夢バンド 代表 丸岡 伸作氏 演題: 「夢と出会いとやさしさと」～音楽を通じて人権を学ぼう～ 【現地学習】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日: 令和3年10月13日(水) 場所: 川村義肢 講師: 川村義肢広報担当職員 (2回目) 期日: 令和3年11月5日(金) 場所: 銀閣寺の庭・全国水平社創立の地 講師: 人権ボランティアガイド ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> 人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図った。 「人権を確かめあう日県内一斉集会」、「差別をなくす町民集会」などの事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止【成果指標①】 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止【成果指標②】 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止【成果指標③】 ○人権に関する相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携を図りながら随時対応できる体制を整えた。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	②成果指標	①識字学級	実施回数	回	0	0
R3 0						
②人権教育地区別懇談会		参加者数	人	183	0	R2 54,762
						R3 87,696
③人権問題学習セミナー		参加者数	人	228	0	R2 50,000
						R3 0

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、ここ数年、一定の参加者はあるものの、大部分の地域で参加者の固定化、高齢化といった課題を抱えている。</p> <p>②人権教育地区別懇談会を15会場において自治連合会等单位で実施しているが、それぞれの地域住民の世代構成の違い等が顕著になってきていることから、幅広い世代に対応できる共通テーマの検討が必要である。</p> <p>③人権三法の啓発に加え、LGBT、発達障がい、インターネット、高齢者問題など、多様化する様々な問題に対する人権教育の推進。また、新型コロナウイルスに関わる誹謗中傷に対する人権侵害対応。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、参加者のニーズを十分把握するとともに、実施に当たっては、その周知方法も含め、各自治（連合）会長と綿密な連携を図りながら、開催に係る啓発等についても協力して進める。</p> <p>②人権教育地区別懇談会について、開催時に実施している参加者のアンケートや総括会議等での意見も参考にしながら、時世とニーズに合わせた計画を立案していく。</p> <p>③多様化・複雑化する新たな人権問題に対応できるよう、学識経験者等の意見を取り入れ、研修会等の啓発・啓蒙に反映させる。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・人権は誰もが持つ普遍的な権利であり、その人権が尊重される地域社会を確立するために、学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。また、あらゆる事業に人権の視点が入っているかを注視していきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大終息後の各種事業の在り方について検討していく。</p>		

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑭文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 ・施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 ・施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動の支援 ・自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種講座の開設 ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施。 ○指定管理者制度の活用 ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、公益財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定することにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○文化講座・健康講座		[単位/人]		
	No.	講座名	内 容	延べ受講者数	
				R2年度	R3年度
	1	銭太鼓	2本の筒状の棒を慣れ親しんだ曲に合わせて楽しく打ちます。	54	37
	2	入門ギター教室	楽譜の読み方から学べます。楽しく合奏しましょう。	-	74
	3	折り紙教室	季節に応じた小物(箱等)やアクセサリ等かわいい折り紙を仕上げます。	34	49
	4	消しゴムハンコ	消しゴムで好きなデザインを彫るコツを教わります。	13	-
	5	ソックモンキー(くつしたぬいぐるみ)	1足の靴下から1体のぬいぐるみを作ります。	28	-
	6	大人可愛いジュエリーバッグ	輝くテープとネットで仕上げ、エレガントで軽くて実用的なハンドメイドバッグを作ります。	40	27
	7	ペーパークイリング	細長い紙をクルクル巻いて、お花やミニチュアを作ります。	-	46
	8	花あそび教室	寄せ植えやドライフラワーリース作り、つみたてのラベンダーで作るクラフトなど。	-	102
	9	ペン字・筆ペンレッスン	季節のお便りや慶弔の表書きなど日常生活に必ず役立ちます。	66	72
	10	たのしい絵画	アクリル、水彩、色鉛筆から好きな画材をお持ちください。楽しく絵を描きましょう。	-	48
	11	はじめての絵手紙	季節を感じて受け取った方も笑顔になれる絵手紙を描きましょう。	34	123
	12	己書教室	味のある文字と絵、自由に筆を走らせる書です。	76	51
	13	整理・収納入門	片付けが苦手な人もそうでない人も、「コツ」を知り、快適空間づくりを実践します。	62	35
	14	入門健康まあじゃん	「飲まない、吸わない、賭けない」健康まあじゃんで脳トレと友達作りを。	24	-
	15	ハングル入門	読み書きを中心に、会話も取り入れながら学びます。	56	112
	16	囲碁入門講座	囲碁の打ち方やルールを実践とともに指導します。	-	46
	17	使える英会話(超初心者向け)	0から始める英会話。	-	102
	18	やさしい朗読教室	童話やエッセイなどの朗読を通じて、豊かな表現力を身につけます。	64	83
	19	スマホ入門	初心者向けの教室です。スマホデビューの第1歩に。	-	112
	20	着付け入門	浴衣から外出着まで、初歩から紐のみで着付けを学びます。	62	-
	20	ストレッチフラダンス(女性専科)	自然賛歌を全身で表現、心と体を癒します。	38	-
	22	ゆる体操初級	固まった身体をゆるりとほぐして血行を促します。	-	49
	23	ツボ療法	からだの不調の原因はツボに表れます。ツボを知れば自分の体調管理ができます。	39	36
	合 計			690	1,204
	○文化センター利用率				
		令和2年度	令和3年度		
	・文化ホール	7.3%	2.6%		
	・展示ホール・ロビー	27.6%	16.0%		
	・会議室・研修室・音楽室	27.7%	30.5%		
	・創作室・和室・茶室・視聴覚室	15.3%	16.9%		
	・リハサル室・調理室・陶芸室ほか	19.8%	20.7%		
	センター全体の利用率	20.2%	21.0%		
	○文化センター改修(主な改修)				
	・文化センター南都銀行跡内部改修工事		11,773,800円		
	・文化センターゴミステーション改修工事		499,400円		
	・文化センターネットワークLAN延伸工事		385,000円		
	・文化センターデジタル印刷機購入		495,000円		
	・文化センター検温モニター購入		203,500円		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化講座・健康講座</p> <p>・令和3年度は、新規の6講座を加えて23講座の受講者募集を行い、18講座を開講した。新型コロナウイルス感染症対策のため、歌唱や調理(飲食)を伴う講座は開講せず、募集定員も10名までとしたが、不開講講座が少なくなり、結果として希望された講座を受講してもらいやすくなった。受講者数は、令和2年度のコロナ禍による影響で半減した690人から1,204人へと大きく増加した。講座とともに学習する場が町民の生きがい・仲間づくりの契機となっており、受講生らが自主的なクラブ活動を始めた団体もあることから、今後も魅力ある講座を開設していきたい。【成果指標①】</p> <p>○文化センター利用状況</p> <p>・利用者数の把握が難しい施設もあることから、利用率(年間:各施設利用日数(コマ数)÷開館日数(コマ数))により評価を行う。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を引き続き受けて飲食を伴う活動を禁止している調理室や茶室などはほとんど利用されていないものの、2か月の間閉館した令和2年度と比較すると施設全体の利用率は回復している。一方で、新型コロナワクチン接種会場として使用した文化ホール(ロビー・展示ホール含む)は発表会などの申請希望の受付が出来なかったため利用率が下がった。【成果指標②】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①文化講座※		参加者数	人	690	1,204
②文化センター(決算額は指定管理委託料)		利用率	%	20.2	21.0	R2 40,927,594 R3 42,109,497

※各教室開催経費は指定管理委託料に含まれている。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理において、経年劣化による不具合や故障が頻発しており計画的に改修する必要がある。</p> <p>②文化講座受講者の世代・性別による偏りをなくし、多様な住民の関心を集めることが必要。</p> <p>③文化講座の開講にあたり、継続して新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がある。施設の定員制限や利用制限を設けたことにより従来の講座を行うことが難しくなっている。</p> <p>④文化講座終了後に自主的なクラブ活動としての継続が難しい。(講師がクラブとしての継続を希望しない。少人数だと講師謝金や施設使用料による個々の負担が大きい。習熟度の差から既存のクラブに入りにくい。受講者からクラブの代表となる人材が必要。)</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①文化講座で、同じ講座を次年度も継続して受講できるようにしても、初めて受講する人を優先するため定員オーバーにより受講できないことがある。また、受講者から開講回数が少ないという声がある。</p> <p>②アンケート結果をもとに希望の多い講座を開講するが、実際の申込数が少なかったり、認識の違いから途中退会されたりすることがある。逆に、スマホ講座などはアンケートでは希望にのぼらなかったが、予想を超える申込があり、表出されにくい需要を探る必要がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①令和2年度に設けた長寿命化計画に基づき、緊急性を勘案しながら計画的に改修する。</p> <p>②受講者のニーズを的確に捉えるためアンケートを実施し、今後の講座の参考とする。ニーズはあるが道具や材料等の初期費用が高額のため開講できないものは施設備品を拡充して貸出すことを検討する。</p> <p>③感染症対策備品の充実とこまめな消毒の実施により、感染リスクを抑えて講座を開講する。また、募集人数を減らし、少人数での開講を実施する。</p> <p>④講師が指導を継続することを希望するような流行に左右されにくい内容の講座を検討する。受講者の習熟度を高めるため、同じ講座を次年度も継続して受講できるようにする。少人数のため活動を始められないクラブへの入部を受講生へ勧める。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①定員については、感染症対策によることから速やかな対応は難しいが、施設利用制限の緩和を今後検討する。また、開講回数を増やすことで1年しか受講できない受講者の満足度や習熟度の向上を図る。</p> <p>②アンケートの設問内容や実施時期、対象者を見直す。申込時期に合わせて、講座の作品展示や教室の様子・アンケートで収集した受講者のコメントを掲載して広報内容を充実させ、受講者との認識のギャップを減らす工夫をする。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・文化センターの設備を改修することにより、改修期間中の利用率は低下するが、長期的な運用に耐えられるよう施設や設備の維持・管理計画を策定し、改修を行っていく。</p> <p>・指定管理業務委託による成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により、住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。</p> <p>・文化講座の開講・運営に必要な環境を整備する。</p> <p>・達成目標とする参加者数・利用率は低下するが、安全のため十分な感染症対策を実施しながら運用する。</p>		

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑮文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」 Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動団体について、地域の文化活動を支える方たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持ちながら、会員の輪を広げていきます。 ・文化活動団体育成のための支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを構築する。 ○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各種団体の活動及び運営に要する経費の一部を補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会 ③三郷町子ども会連合会 ④三郷町民文化祭実行委員会 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師等の選定に際し、地域の団体・個人と連携を図ることにより、継続した講師依頼はもとより、新たな指導者の掘り起こしができたが、新型コロナウイルス感染予防のため、5月から10月及び3月の期間は中止もしくは縮小実施となった。 ①家庭教育学級 3回（教養講座3回） ②長寿学級 4回（文化講演2回、健康体操1回、音楽鑑賞1回） ③くれない学級 4回（文化講演1回、創作学習2回、音楽鑑賞1回） ④つながり学級〈三郷町子ども人権学習支援事業〉 中止 ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会（補助金額：670,000円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会（書面回答）、理事会及び随時役員会を実施。文化協会講演会及び現地での研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、文化協会まつりを12月に作品展示及び演芸ビデオ上映に内容を変更して開催し、推計150～300人の来場者があった。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会（補助金額：200,000円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：町の各事業への協力、老人福祉施設でのボランティア活動、日赤活動及び衣裳貸出事業を実施。研修や観賞会等の主催事業を中止することとなったため、代わりに高齢者の見回りを随時行った。 ③三郷町子ども会連合会（補助金額：288,000円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：総会や「8月8日は子ども会の日」（プール遊び）、どろんこあそびの会（陶芸）を感染症対策を行いながら実施した。新型コロナウイルス感染症拡大（第6波）により、子ども会大会は中止したが、追加事業として各家庭で節分豆まきを実施した（節分会）。 ④三郷町民文化祭実行委員会（補助金額：0円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：「第53回三郷町民文化祭」を10月23日（土）、24日（日）に開催の予定をしていたが、実行委員会で協議の末、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び会場都合のため中止することとした。 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会（補助金額：22,837円） <ul style="list-style-type: none"> 主な事業：「第34回三郷町芸術祭美術展」を9月9日（木）～9月12日（日）に開催を予定していたが、実行委員会で協議の末、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び会場都合のため開催延期の後、中止することとした。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・開催を中止せざるを得なかった講座もあるものの、地域の指導者等の協力を得て生涯学習を実施することで、より活発な活動に繋がった。 ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し運営の活性化を図った。 <p>【成果指標①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三郷町民文化祭実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町民の積極的な参加を狙った、町主催行事の中でも特に大規模なイベントであったが、令和3年度は開催を中止した。【成果指標②】 ○三郷町芸術祭美術展実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・一昨年の出展品数(172点)や来場者数(920人)を超えるよう開催を計画していたが、令和3年度は開催を中止した。【成果指標③】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)	会員数	人	949	903	R 2 602,122 R 3 1,158,000
②三郷町民文化祭実行委員会	参加団体数	団体	中止	中止	R 2 0	
	来場者数	人	中止	中止	R 3 0	
③三郷町芸術祭美術展実行委員会	来場者数(展示会場)	人	中止	中止	R 2 58,020 R 3 22,838	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の各種事業実施にあたり、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数を増加し、組織力を強化する必要がある。 ③三郷町には文化活動推進を目的とする補助団体として、公益財団法人三郷町文化振興財団及び三郷町文化協会があり、文化芸術を推進する補助事業として文化祭及び芸術祭美術展がある。これまで、それぞれの団体や事業において独自に活動を続けてきた経緯があるが、現状ではいずれも会員や入場者数を確保することに苦慮しており、今後活動の連携が必要である。 ④三郷町民文化祭の運営に係る人材及び人員不足。 ⑤三郷町芸術祭美術展の目標来場者数(1,000名)の確保。 ⑥新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響下での大規模イベントの開催方法。 ⑦SDGsの取り組みを促進するイベント開催。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化センターで行っている文化教室など情報交換を行い、地域の人材を把握できる体制を構築。 ②地域婦人団体連絡協議会の会員募集を引き続き広報をはじめ、いろいろなツールを活用して周知する。 ③他のイベントとの共同開催や、他団体の教室等に積極的に参加をし、交流することにより、相互の団体・事業の活性化を図る。 ④今年度は中止となったが、町の一大イベントなので全庁的な協力を依頼し、動員をかけていく。 ⑤今年度は中止となったが、今後もより一層の積極的な広報活動を行い、出展品数を増やし、来場者数が増加するよう努める。 ⑥イベント開催形態の見直しと適切な感染症対策を実施し、持続可能なイベント内容等を検討する。 ⑦中止した事業が多いが、今後、文化祭等の飲食を伴う野外イベントでの「ごみ問題」を対策し、分別だけでなくリユース食器やエコ容器の代用を検討する。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習活動の支援を得る中で人材の発掘及び指導者の育成を行い、将来的には分野の垣根を越えて、指導者又は講師として活躍できるよう支援する。 ・文化活動団体・個人に対し、費用面、活動場所や機会の提供等の多面的な支援の継続をしながら、団体間の交流を勧奨する。

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」 Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○資料・情報の提供 図書、雑誌、新聞をはじめ、デジタル図書やCD・DVDなどの音響・映像資料を含む各種の図書館資料を幅広く収集し、子どもから高齢者までそれぞれの年齢層に合った資料を、ニーズに応じて迅速かつ確に提供する。 また、館内のインターネットアクセス端末により図書館資料の検索等、ネット情報の提供も行う。 ○子どもの読書の推進 絵本や児童図書の利用の促進(季節やテーマに沿った絵本の面展示・表紙の展示、小中学生向け調べもの学習資料の充実)とともに、乳幼児向け(ブックスタート、ゆりかごおはなし会)、児童生徒向け(おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏・冬のつどい、本の森探検隊)の年齢層に合わせた行事を継続して行うことにより、子どもの読書推進を図る。 ○生涯学習事業の推進 映画上映会や童謡コンサートなど、各種講演会や演奏会を実施して、人々が集い交流する生涯学習の場を提供する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○令和3年度統計			
		R2年度	R3年度	
	蔵書冊数	258,025冊	259,294冊	
	入館者数	69,667人	90,676人	
	貸出人数	57,691人	67,559人	
	貸出冊数	202,135冊	252,137冊	
	ネット予約件数	18,710件	21,922件	
	ネット延長件数	8,307件	10,556件	
	HPアクセス数	81,628回	83,257回	
	読書通帳(累計)	4,969冊	5,453冊	
	電子図書登録者数	9,605人	9,813人	
	電子図書貸出回数	806回	1,642回	
	○図書館行事			
		行事名	概要	参加人数(人) R2年度 R3年度
		ブックスタート	11ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘い、赤ちゃんの成長の手助けをする	120 125
◆	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	— —	
◇	おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	33 14	
◇	土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせや折り紙	— 7	
	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	— 45	
◇	映画上映会	名作映画の上映会	734 559	
◆	アニメ映画会	子ども向けアニメ映画の上映会	— —	
◆	本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親しむイベント	— —	
◆	フロアーコンサート	図書館の開架室でギターマンドリンコンサート	— —	
◆	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるイベント	26 —	
◆	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	10 14	
◆	小学生一日図書館員体験	図書館業務を通して、仕事の大切さを知ってもらう	— —	
	本の帯コンテスト	子供たちがお気に入りの本の帯を作成し、展示する	— 6	
	冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	— 50	
◆	おりがみ教室	親子で一緒に折り紙を折る	— —	
◆	手作りカード教室	親子で一緒にメッセージカードを作る	— —	
◆	秋の朗読会	各自が選んだ本を朗読して互いに紹介する	— —	
◆	ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	— —	
◆	ぬいぐるみとしょかんおとまり会	ぬいぐるみと一緒におはなし会の後、図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント	— —	
◆	ナースのたまごと健康体操(ピブリオバトル)	信貴山看護学校生徒による健康体操及びお薦め図書の発表会	— —	
◆	歌のつどい	皆で童謡を歌える場所を提供する	— —	
◆	童謡コンサート	武鹿悦子先生作詩の童謡・唱歌の演奏会	— —	
◆	クリスマスコンサート	町内コーラス団体等による演奏会	— —	
	計		923 820	
※◆マークは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、◇マークは一部中止した行事				

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○資料情報の提供 話題の図書などに常に注意しながら、可能な限り住民のリクエストなどの要望に応えるよう予算の範囲内で各種資料の内容充実を努めたが、資料購入数は前年度に比べ、177冊(枚)の減少となったものの、寄贈図書を加えると、蔵書冊数は前年度より1,269冊増加となった。コロナ禍でありながら、蔵書数は継続的に増加し、充実していることに加え、開館日数の増加等により貸出冊数は前年度より50,002冊の増加となった。</p> <p>また、令和3年3月から貸出を開始した電子図書館については、貸出及び返却時の来館の必要がなく、現在のような感染症流行時や病気等の理由により外出できない場合においても、24時間、手軽に遠隔による図書の貸し出しが可能である。加えて、書籍を持ち運ぶことなくスマートフォン等で手軽に読書を楽しむことができるという利点からも、今後の需要が見込まれるものと考え。【成果指標①、④】</p>
	<p>○子どもの読書推進 3年度も新型コロナウイルスの影響を受け、子ども向けの事業の多くが中止もしくは縮小実施となった。おはなし会などの密室で行うイベントは、前年度に引き続き中止・縮小となったが、「夏・冬のつどい」などの密にならない空間でのイベントを再開した結果、参加者数は前年度より増加した。【成果指標②】</p> <p>○生涯学習の推進 他事業と同様に、新型コロナウイルスの影響で行事が相次いで中止もしくは縮小実施となり、参加者数は減少となった。このような状況下でも上映会については住民の要望もあり、実施していたが、感染予防のため開催日を隔週に変更したことに加え、1月のコロナ第5波以降の開催は中止としたことから、結果的に前年度より参加者数が減少した。【成果指標③】</p>

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)	
	①資料情報の提供		図書・雑誌・CD・DVD等購入数	冊(枚)	6,452	6,414	R2
R3							9,391,408
②子どもの読書推進		参加者数	人	153	247	R2	160,930
						R3	109,175
③おとなの読書推進		参加者数	人	770	573	R2	0
						R3	0
④電子図書館の推進		コンテンツ購入数	冊	1,011	19	R2	3,997,841
						R3	97,956

③事業の課題	【継続的な課題】
	①コロナ禍も含め、何らかの理由で「図書館に來れない方」に対する読書環境の提供。
	【新たな課題】
	①すべての年代の方に電子図書館を利用してもらうための方針。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】
	<p>①自宅にしながら読書を楽しめる「電子図書館」と、図書を自宅に郵送する「郵送貸出」を実施したことなど読書環境の充実に寄与したものと考え。</p> <p>また、以前より要望のあった駐車場～玄関の間の階段に屋根を設置して、雨の日に親子連れが滑らないようにしたり、車椅子の方が地下玄関から上がってこれるよう職員が誘導するなど、コロナ収束後も図書館に來にくい方をサポートする体制を構築する。</p>
	【新たな課題に対する改善方法の検討】
	<p>①3年度の電子図書館の貸出回数割合を年代別で算出したところ、年代毎に差があることが判明した。(50代は多いが10代は少ないなど。)その対策として、4年度から小中学校全児童・生徒に電子図書館の「ID・パスワード」を配布したことにより、10代の貸出回数は伸びたが、その他の年代に対しても改めてアプローチする必要がある。</p> <p>電子図書は購入から2年で解約されるため、蔵書数を伸ばすことは難しく、また購入できる冊数も限りがあることから、利用者の要望に耳を傾け、近隣の図書館の選書方針も参考にすることで、コンテンツを充実させる。また、入荷した新刊書を広報や掲示ポスター等の普段電子図書を触ったことのない層にアピールすることで利用を促進させる。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・町民に対して十分な資料や情報を提供できるよう、図書館の基本的業務の履行はもとより、様々な行事を通じて図書館の魅力を最大限にアピールし「三郷町まちづくり総合戦略」の目標達成を目指す。また、生涯教育の推進を始め、ひとりでも多くの方が憩いの場として利用できる図書館の環境づくりを積極的に進める。</p> <p>・利用者の意見や要望を真摯に受け止め、利用者一人ひとりが満足できる図書館となるよう、充実した資料の収集や豊かな情報の提供に努める。</p> <p>・年齢、性別、そして障がいの有無にかかわらず、本をいつでも、どこでも、それぞれのニーズに応じた方法で提供できる図書館づくりに努める。</p>		

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町スポーツ協会や三郷町スポーツ少年団及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 <p>○軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらえるように、各種軽スポーツ大会等を実施する。 <p>◎総合型地域スポーツクラブへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」が自立して運営できるよう支援を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○スポーツの推進</p> <p>①町民マラソン・駅伝大会の開催 地域住民がイベントを通じてスポーツに親しみながら、健康増進することを目的として、三郷町スポーツ少年団や各種団体の協力のもと、三郷町スポーツ協会主催で町民マラソン・駅伝大会(於：竜田運動公園)を1月23日(日)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。</p> <p>②野球審判講習会 盛んなスポーツのひとつである野球の試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正にも適宜対応できるよう、3月26日(日)に審判講習会を開催した。</p> <p>③関係団体に補助金の助成</p> <table border="0"> <tr> <td>【三郷町スポーツ協会】</td> <td>補助金額</td> <td>1,589,953円</td> </tr> <tr> <td>【三郷町スポーツ少年団】</td> <td>補助金額</td> <td>499,206円</td> </tr> </table> <p>④三郷町スポーツ推進委員 スポーツ振興のため、子ども人権学習支援事業などに出向き、住民に対しスポーツの実技指導等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。</p> <p>⑤軽スポーツ事業 三郷町スポーツ協会主催で9月12日(日)に「軽スポーツ大会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。</p> <p>⑥総合型地域スポーツクラブへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室開催場所(グラウンド)の優先確保 教室の夜間開催 7教室 306回開催 延べ参加者 2,123名 教室の土曜開催 2教室 63回開催 延べ参加者 535名 <p>また、同クラブの主な事業となる各種教室については、未就学児・小学生向けのキッズダンスやジュニアサッカー、ジュニアテニス、ランニング、ティーボール、また、一般・シニア世代向けにサークルとしてノルディックウォーキング等を開催。太極拳やエアロビクス、体操、ストレッチや様々な種類のヨガ教室など40教室を展開。 全ての教室やサークルにおける開催回数は延べ1,424回で、参加人数は延べ9,571人。</p>	【三郷町スポーツ協会】	補助金額	1,589,953円	【三郷町スポーツ少年団】	補助金額	499,206円
【三郷町スポーツ協会】	補助金額	1,589,953円					
【三郷町スポーツ少年団】	補助金額	499,206円					

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○関係団体への補助金による助成 ・「三郷町スポーツ協会」及び「三郷町スポーツ少年団」に運営補助金を交付し、組織の育成及び強化を図った。【成果指標①②】</p> <p>◎総合型地域スポーツクラブ ・新型コロナウイルス感染症のデルタ株やオミクロン株の流行時に、会員更新や新規会員の入会に影響が出て、会員増にならず、年間の教室参加人数は減少した。当初は会員数の目標を400人としていたが、各教室の未参加者への集客を図ったり、実績は272名となった。【成果指標④】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度	決算額(円)
	①三郷町スポーツ協会事業	参加人数	人	750	640	R2 1,566,452 R3 1,589,953
②三郷町スポーツ少年団事業	参加人数	人	110	98	R2 624,306 R3 499,206	
③町民体育祭	競技参加人数	人	中止	中止	R2 0 R3 0	
④総合型地域スポーツクラブ事業	教室参加人数	人	9,017	9,571	R2 R3	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①総合型地域スポーツクラブの運営にスポーツくじ助成金を平成27年度から5年間受けていたが、令和元年度で完了した。令和2年度以降については、新たに3年間の助成金を受けるものの、従前の半分程度に減額となることから、今後の運営はより厳しくなっている。助成金の交付が完了するまでに、継続的な自立運営ができるよう、教室の実施場所や人材の確保、クラブ運営システムの確立が必要である。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の諸対策により、今後も全ての事業が影響を受けることが予測される。状況に適応すべく、運営方法等を模索していく必要がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①現状の文化センター主体の教室運営を行う場合、施設の優先利用及び施設使用料減免等の検討が必要となる。また、文化センターの一般の利用者との関係で、これまで以上の優先利用が難しい部分もあることから、他の施設を利用した教室運営も検討していく。</p> <p>②スポーツ活動と感染症対策を両立した新たな運動スタイルを模索していく。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」の自立運営を目指し、新たな種目の追加をはじめ、町が進める健康づくり・介護予防につながる教室の検討や感染症対策も兼ねたりリモート教室等の開催により、クラブ入会に係るPRを積極的に実施。</p> <p>・各団体において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止体制の中での活動を意識し、情報共有を行う。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ等を活用し、中学校の部活動指導を段階的に地域移行していく。</p>

令和3年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの運営を支援をします。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大を図る。 ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うため、スポーツセンター及びウォータープークを合わせて指定管理により運営する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・経年による各施設の維持修繕が必要になっていることから、随時、修繕及び改修を行い、施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 ①竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：真砂土入替、側溝浚渫 (決算額：1,384,350円) ②勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：学童軟式野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール 施設整備：真砂土入替、ベンチテント修繕 (決算額：506,550円) ③スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：防火シャッター改修 (決算額：792,000円) ④ウォータープーク <ul style="list-style-type: none"> 施設整備：ガセットプレート改修、生活排水ポンプ改修、高圧ケーブル改修 エアコン設置工事、私設水道メーター修繕、小便器センサー修繕 (決算額：5,300,099円) ⑤中央公園多目的広場 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー等 施設整備：グラウンド凍結防止、エアコン設置工事 (決算額：1,663,935円) ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活かし、効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成30年度から5年間スポーツセンター及びウォータープークを合わせて(株)翔成へ指定管理業務を委託。 (指定管理料 平成30年度～令和4年度 112,417,000円)
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○スポーツ施設の整備 ・ウォーターパークの高圧ケーブルの改修工事を行った。その他、ウォーターパークやスポーツセンターの老朽に伴う修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設運営を図った。</p> <p>○スポーツ施設の運用 ・ウォーターパークの町民限定利用など、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、利用者の体力の維持・増進や健康で明るい生活の充実、また、利用者同士の親睦に寄与した。</p> <p>○指定管理制度の導入 ・平成22年度以降、ウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを活かして、効率的・効果的な施設運営と経費の削減が図れている。なお、現行の指定管理業務委託は、平成30年度から令和4年度までの5年間で引き続き(株)翔成に委託。</p>
-------------	---

②成果指標	施設名	成果指標名	単位	R2年度	R3年度
	①健民グラウンド	利用者数	人	20,631	27,339
②テニスコート	利用者数	人	3,602	1,067	
③中央公園多目的広場	利用者数	人	24,805	33,045	
④勢野グラウンド	利用者数	人	2,385	4,857	
⑤スポーツセンター	利用者数	人	50,932	61,819	
⑥ウォーターパーク	利用者数	人	14,621	17,071	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理 ・各施設の経年劣化による不具合や故障が頻繁に発生し、維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブの自主運営には、教室数及び会員数を増加させる必要があるが、新教室を開講する場所がない。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症拡大防止のために利用制限がかかっていることから、スポーツの機会を提供するための施設運用に工夫が必要である。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修等を行う。 今後は令和2年度に長寿命化計画を策定し、それに基づき修繕を行っていく。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブの自主運営に向けて、学校開放制度を有効活用した。引き続き、その他の施設の空いている場所・時間を有効活用していく。</p> <p>③各施設(部屋)の定員を減じて設定するとともに感染症対策備品の充実し、感染リスクを軽減する。利用者の理解と協力を得ることができる施設運用システムを構築する。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・令和2年度に策定したスポーツセンター、ウォーターパークの長寿命化計画に沿って、長期的な運用に耐え得る施設や設備の維持管理・改修を行っていく。</p> <p>・感染症対策と施設使用のニーズのバランスをとりながら運用していく。</p>		

IV 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者：奈良学園大学 副学長 金山 憲正

令和3年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、学識経験者に点検評価を依頼し、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言を受けた。

2. 指導・助言の内容

- 本年度実施された教育に関する施策及び事業が、前年度の点検・評価シートを纏められる際に行われたPDCAサイクルにおいて「今後の計画・方向性」として次年度に向け示されたP (PLAN)を基に計画的に推進されて充実した成果を上げるものとなっている。
- 「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの基本目標のもとに18の「点検・評価項目」を設定し、それぞれの項目ごとの基本方向に沿って適切で充実した施策が講じられている。
- 施策④「特別支援教育の推進」においては、幼児・児童・生徒の一人ひとりを大切にしたい三郷町ならではのきめ細かな日々の実践が行われていて、三郷町で育った子ども達が将来きっと「住んでよかった三郷町」との思いを持つであろう。
ただ、特別支援を必要とする幼児・児童・生徒の数は三郷町だけではなく全国的に増加することがほぼ確実である。そのような状況下で十分な支援員を確保することは今後ますます難しくなってくるのが予想できるので、地域の潜在的な教育力（元保育士、元教員、未経験でも免許を有している方など）の発掘や学生ボランティアの確保等にも目を向けていくことも必要ではないだろうか。
- 施策⑤「情報・国際教育の推進」においては、校内LAN・教育用コンピュータ・ICT機器の整備やモバイルルータの貸し出し等きめ細かで充実した事業が進められており、小中一貫教育を進める際の活用、更にはコロナ感染拡大や災害時に対応して遠隔授業が必要になった際などにも十分に対応できる恵まれた環境が整ってきていると思われる。
充実した教育を進めていく上で機器の整備は必要不可欠なものであるが、それと共に整備された機器を有効に使いこなす指導者の育成も重要なことである。当初はICT支援員の活用も必要ではあるが計画的にICT支援員の手から離れてもICT機器の活用が図れるようにしていくことも考えなくてはならない時期でもあると思われる。
- 以上今回は2つの施策についてここで取り上げたが、他の施策についても④⑤と同様全てが綿密な計画に基づいて的確に実行され着実な成果を上げられていることに頭の下がる思いである。
- この評価報告書を作成することを継続していくことは、18の項目についての事業を推進していく際のPDCAサイクルを確実に実行していくことになり三郷町の教育関連事業の充実・発展に確実に寄与しているものだと考える。

令和4年8月23日

金山 憲正